

小規模企業景気動向調査 [2025年4月期調査]

～季節要因・GW 効果もむなしく、全産業で全ての DI が悪化した小規模企業景況～

<産業全体>

4 月期の産業全体の景況は、全ての DI が小幅に低下し、前年同月比でも建設業の一部の項目を除き、全 DI が低下した。サービス業のようなインバウンド需要の恩恵を受けやすい業種では、売上が好転しているとの声が見られたものの、産業全体で消費マインドの低下が著しく、また、米国の関税政策により、受注量を抑制される等の影響が出ているという声もあった。

	DI	3月	4月	前月比	前年 同月比
売上額		8.2	3.6	▲ 4.6	▲ 5.4
採算	▲	17.0	▲ 20.2	▲ 3.2	▲ 4.9
資金繰り	▲	14.2	▲ 16.8	▲ 2.6	▲ 4.4
業況	▲	12.8	▲ 17.5	▲ 4.7	▲ 8.8

<製造業(食料品、繊維、機械・金属)>米国の関税政策の影響もあり、目下の課題が山積する製造業

製造業は、売上額 DI が大幅に低下、採算・業況 DI は小幅に低下し、資金繰り DI はわずかに低下した。機械・金属関連では、米国関税政策による受注減少等の影響が見込まれる、あるいは受けているとの声があった。食料品関連では原材料価格の高騰に対応しきれていない事業者が多く、繊維関連では人手不足の影響が大きいという声もあるなど、業種ごとで特筆すべき課題が分かれる結果となった。

	DI	3月	4月	前月比	前年 同月比
売上額		7.8	2.7	▲ 5.1	▲ 4.4
採算	▲	21.5	▲ 23.7	▲ 2.2	▲ 6.3
資金繰り	▲	16.7	▲ 17.9	▲ 1.2	▲ 4.0
業況	▲	17.6	▲ 21.4	▲ 3.8	▲ 10.9

<建設業>資材コスト上昇や人手不足が深刻化する中、利益確保への対応が求められる建設業

建設業は、売上額・業況 DI が大幅に低下し、採算・資金繰り DI は小幅に低下した。前年同月比では採算 DI がわずかに上昇。価格転嫁を進める事業者もいるが、資材高騰や人手不足の深刻化により、依然として収益の確保が困難な事業者が多い。また、金利引上げの動きや年度末需要の落ち着きもあり、着工数が減少しているとの声もある。売上額 DI はプラス値を維持するものの、2 月期から 2 カ月連続での低下となり、先行きには不安が残る。

	DI	3月	4月	前月比	前年 同月比
売上額		12.1	7.0	▲ 5.1	▲ 3.6
採算	▲	13.0	▲ 16.9	▲ 3.9	1.0
資金繰り	▲	13.8	▲ 17.1	▲ 3.3	▲ 3.7
業況	▲	9.1	▲ 14.9	▲ 5.8	▲ 3.9

<小売業(衣料品、食料品、耐久消費財)>前月の業況改善から一転、物価高の影響に苦しむ小売業

小売業は、売上額・採算・業況 DI が大幅に低下し、資金繰り DI は小幅に低下した。特に衣料品・食料品関連では、生活必需品として価格転嫁が難しい状況。また、仕入価格が高騰する一方、大型店舗との価格競争や消費者の節約志向により顧客離れが進み、廃業を余儀なくされる事業所も散見された。耐久消費財関連では、エネルギー価格の上昇が消費者の省エネ意識を喚起するなど、業況の好転を示す声も見られた。

	DI	3月	4月	前月比	前年 同月比
売上額		6.4	0.0	▲ 6.4	▲ 2.0
採算	▲	20.3	▲ 25.6	▲ 5.3	▲ 5.7
資金繰り	▲	16.7	▲ 21.1	▲ 4.4	▲ 5.6
業況	▲	17.3	▲ 24.7	▲ 7.4	▲ 10.4

<サービス業(旅館、クリーニング、理・美容)>インバウンドや季節要因によって明暗が分かれたサービス業

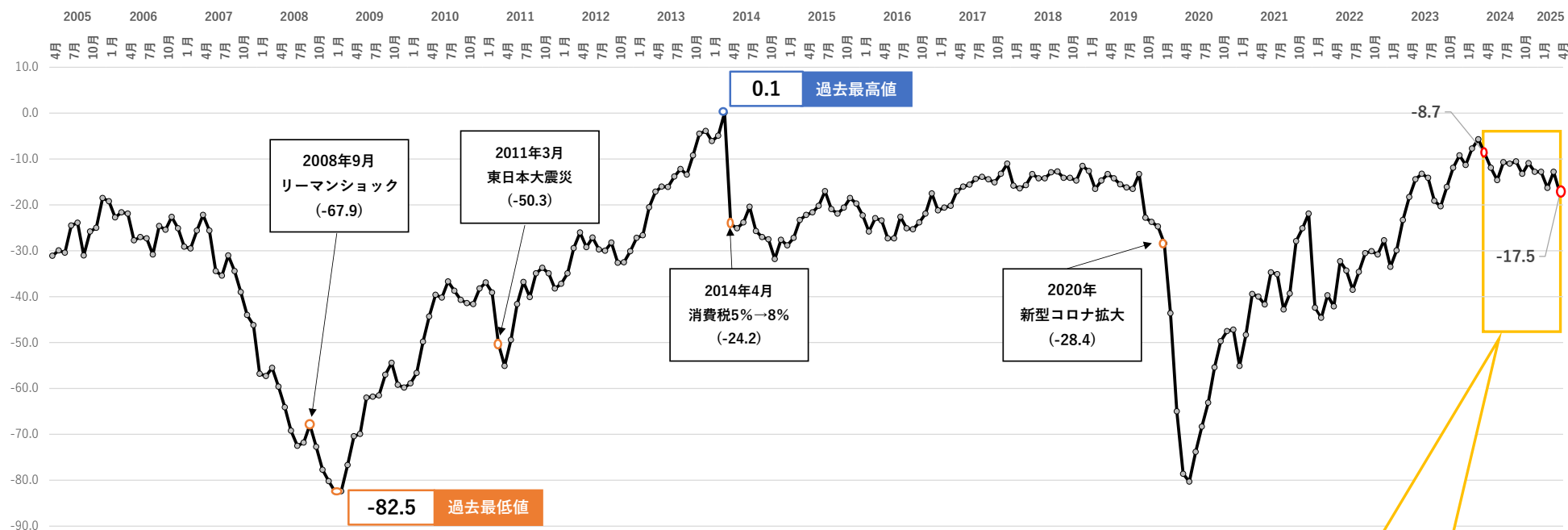
サービス業は、全ての DI がわずかに低下した。前年同月比では売上額・採算・業況 DI の低下が顕著であり、前年と比較しても悪化の傾向が強まっている。旅館関連では、地域によってインバウンド需要の恩恵を受けるか否かが分かれる結果となった。クリーニング及び理・美容業関連では、事業者数は増加する一方、特に地方における人口減少や顧客の利用頻度の低下に加え、価格競争にさらされており、収益の確保が厳しい状況にある。

	DI	3月	4月	前月比	前年 同月比
売上額		6.4	5.0	▲ 1.4	▲ 11.3
採算	▲	13.2	▲ 14.7	▲ 1.5	▲ 8.8
資金繰り	▲	9.7	▲ 11.0	▲ 1.3	▲ 4.2
業況	▲	7.2	▲ 9.1	▲ 1.9	▲ 10.0

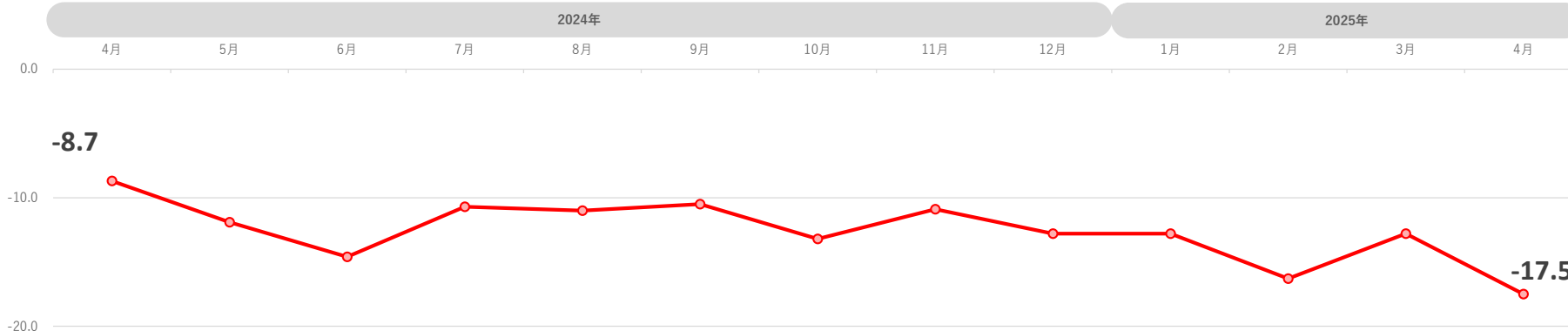
調査概要

- ・調査対象：全国 303 商工会の経営指導員（有効回答数：252/回答率 83.2%）
- ・調査時点：2025 年 4 月末
- ・調査方法：対象商工会経営指導員による調査票への選択記入式
- ※ DI（景気動向指数）は各調査項目について、増加（好転）企業割合から減少（悪化）企業割合を差し引いた値を示す。

小規模企業景気動向調査 産業全体の業況DIグラフ～過去20年のトレンド～



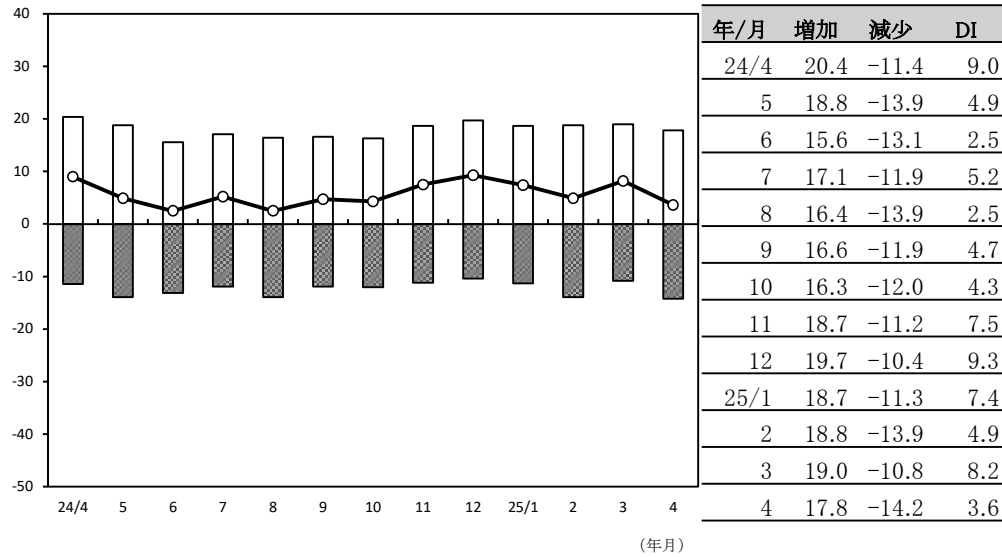
産業全体の業況DIグラフ～直近1年間～



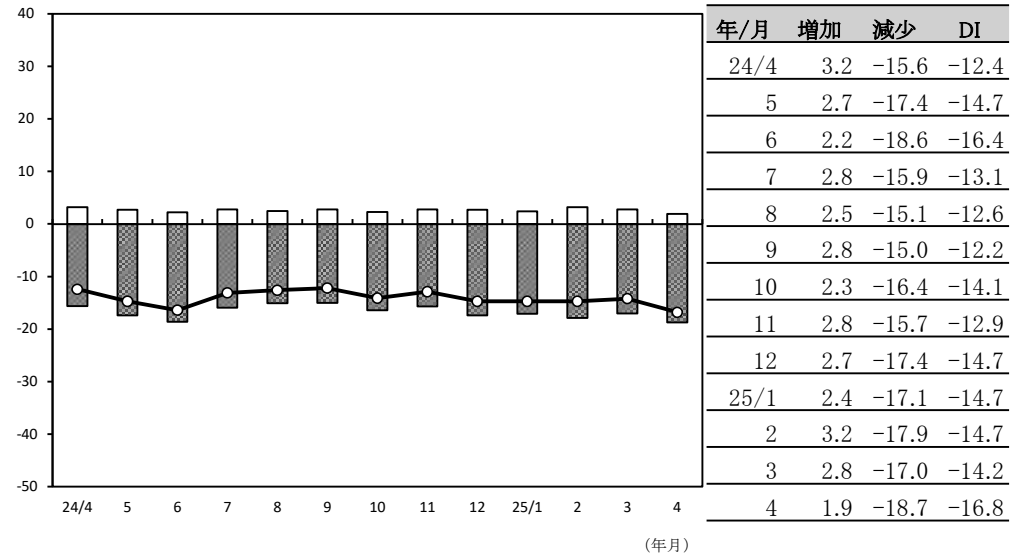
小規模企業景気動向調査(2025年4月期)

産業全体(前年同月比)

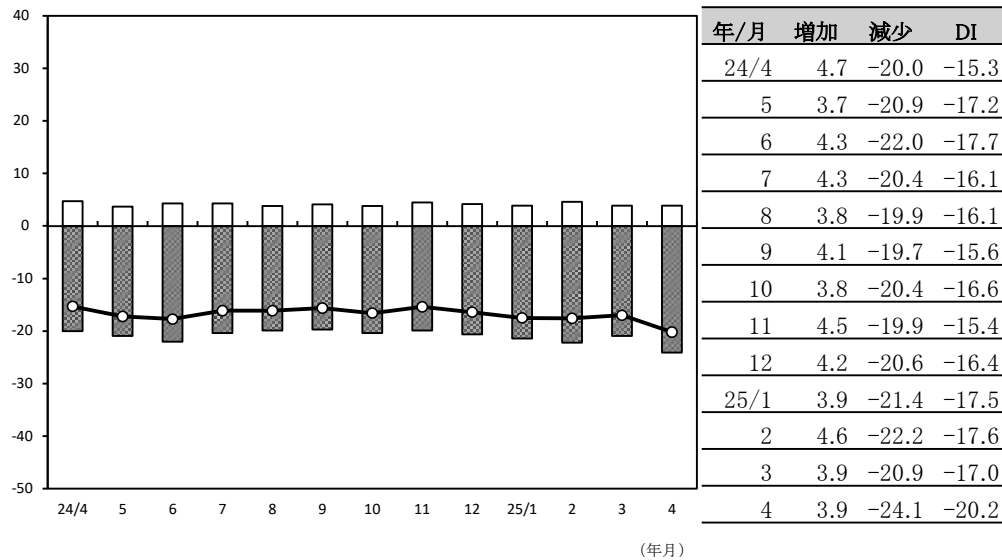
売上額



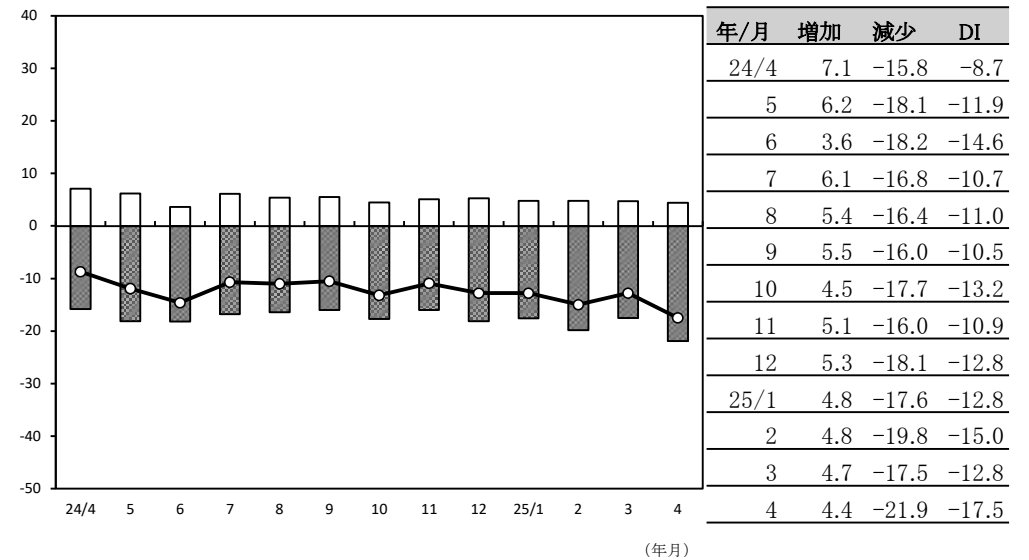
資金繰り



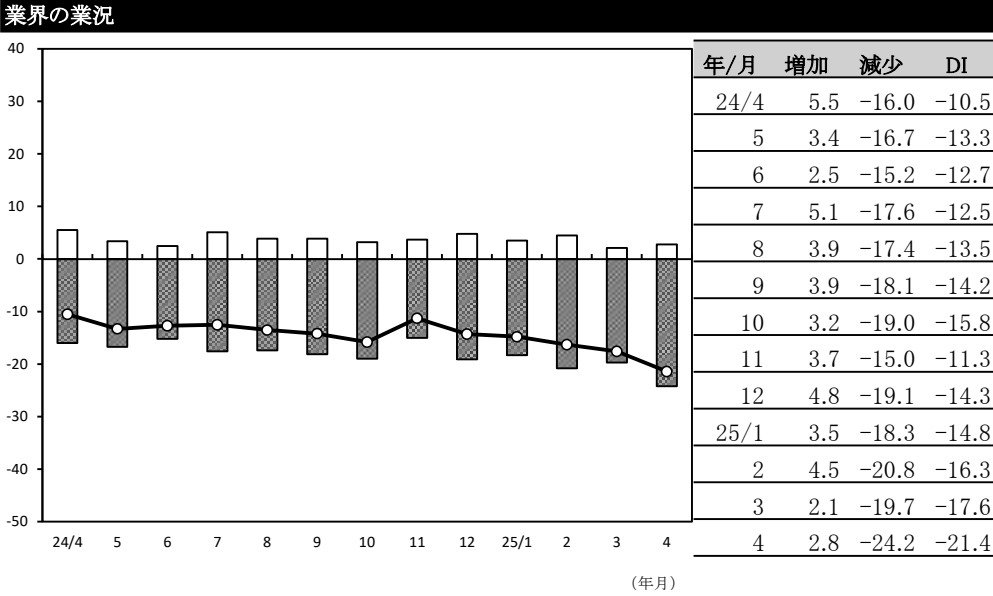
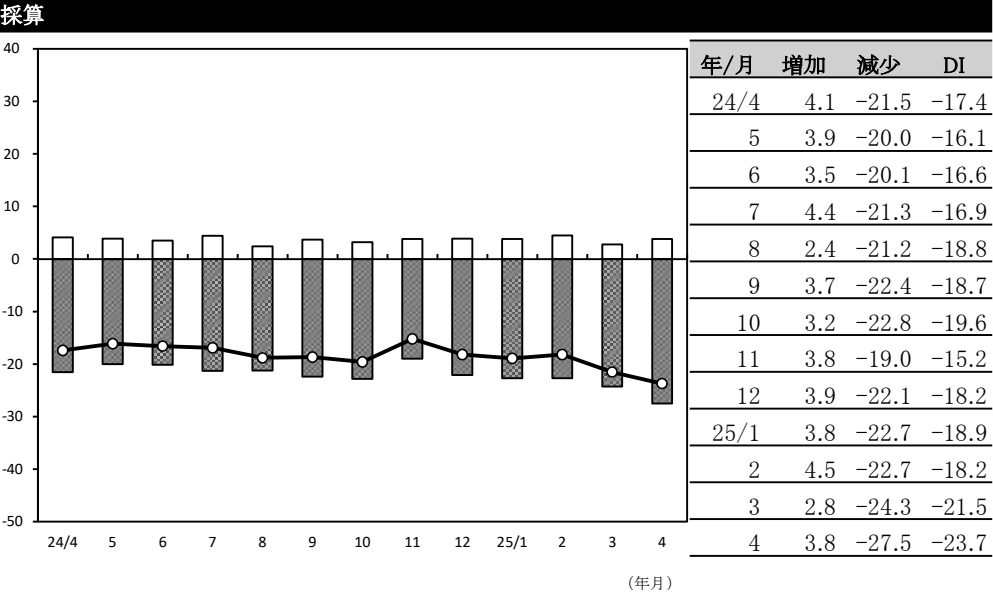
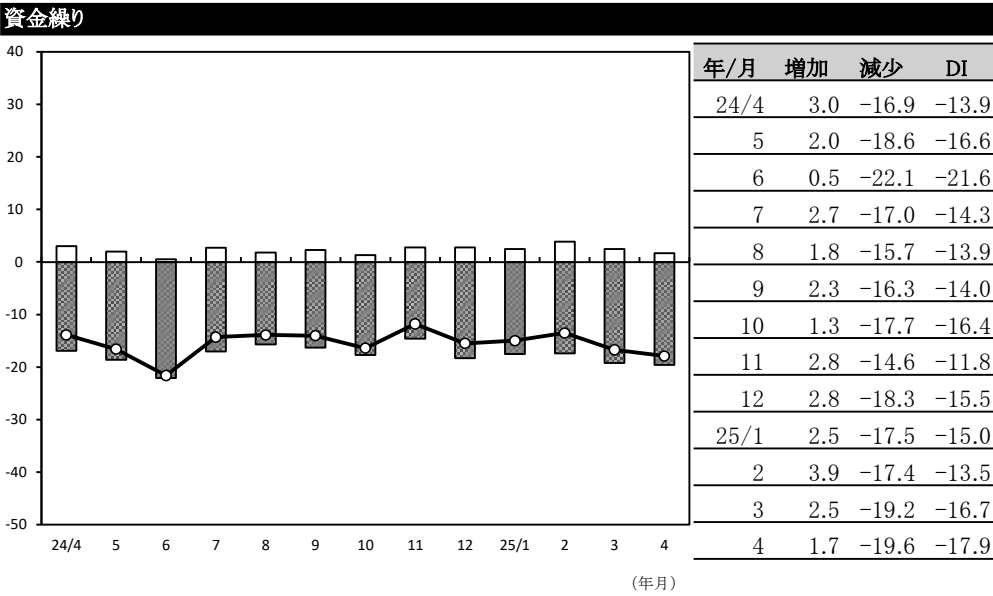
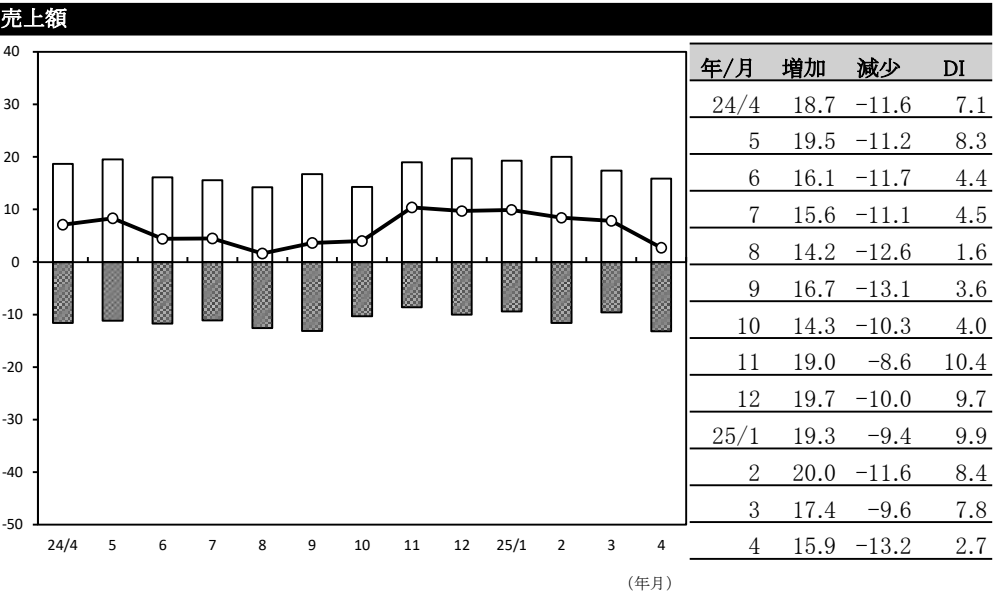
採算



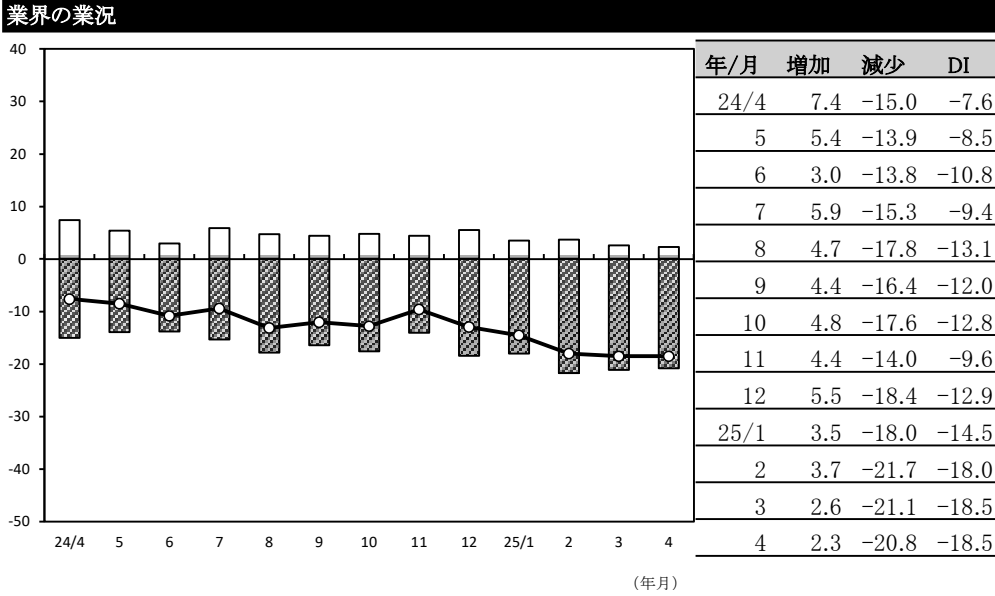
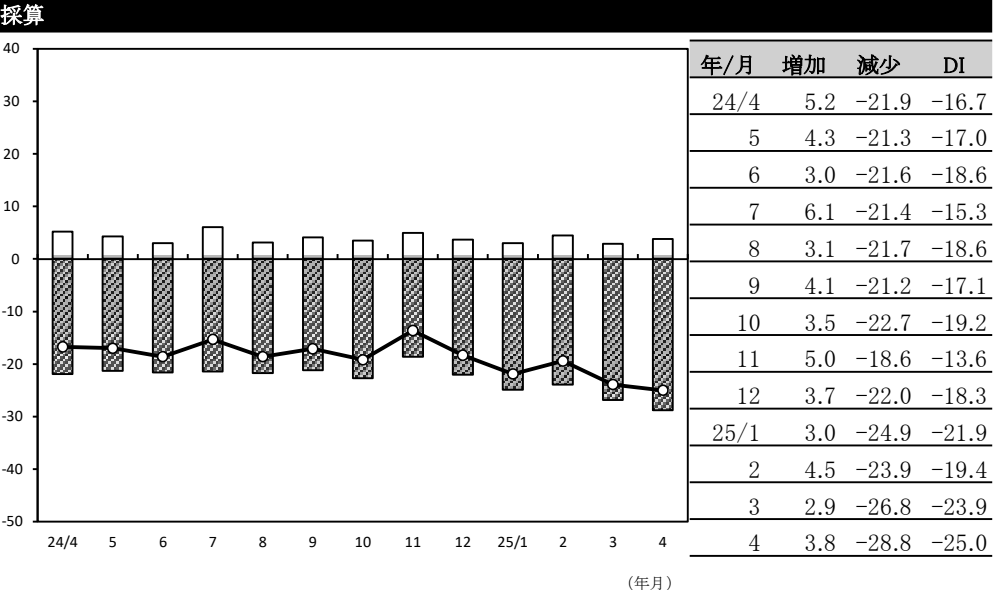
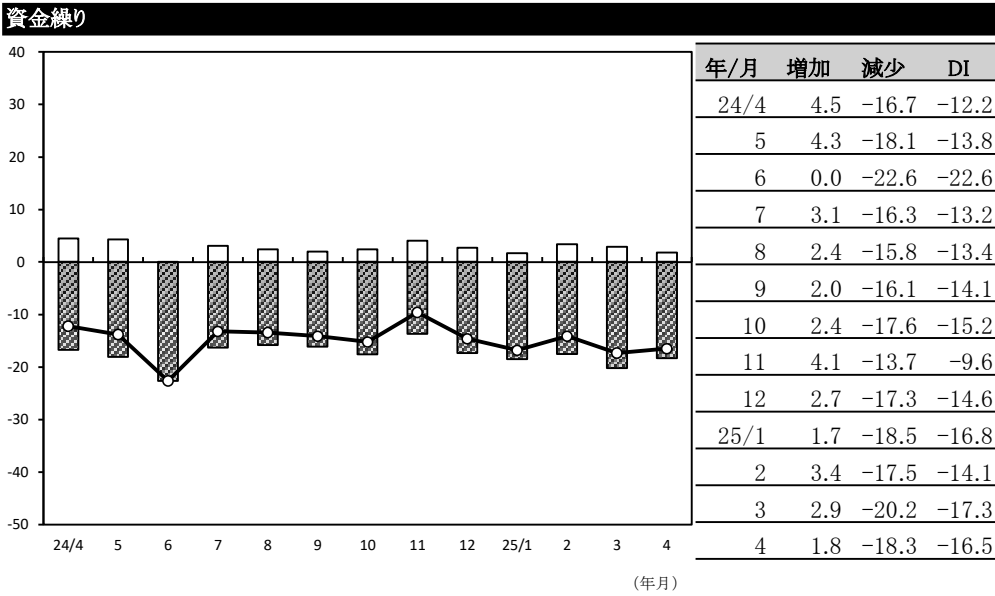
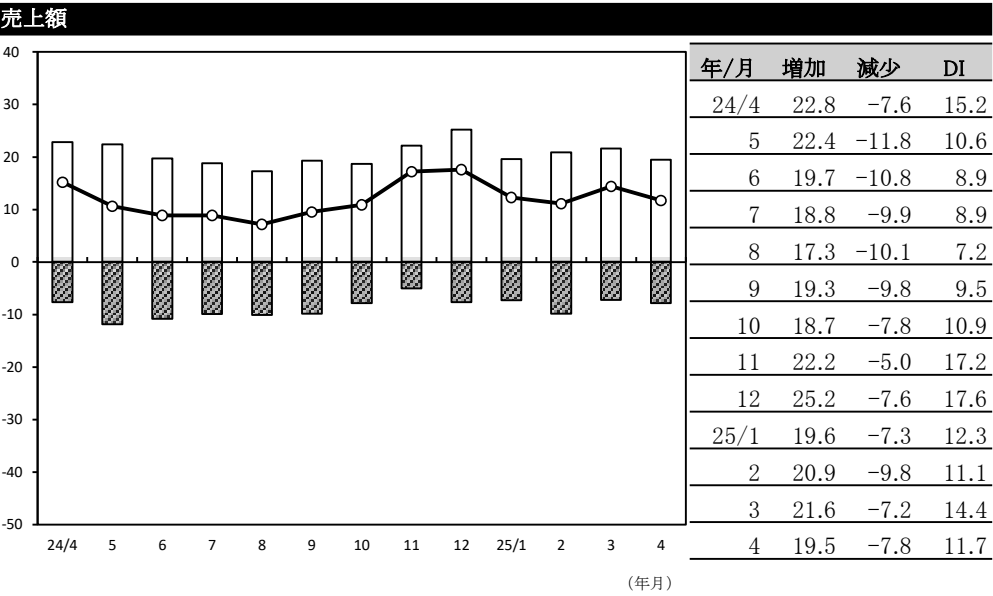
業界の業況



製 造 業(前年同月比)

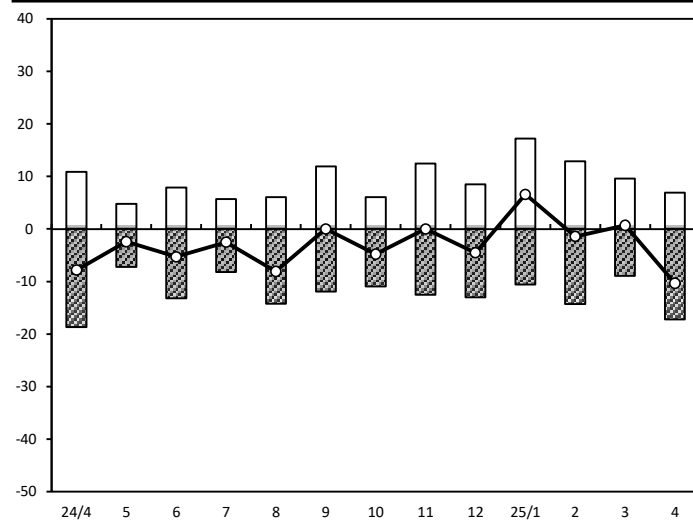


製 造 業【食料品】（前年同月比）



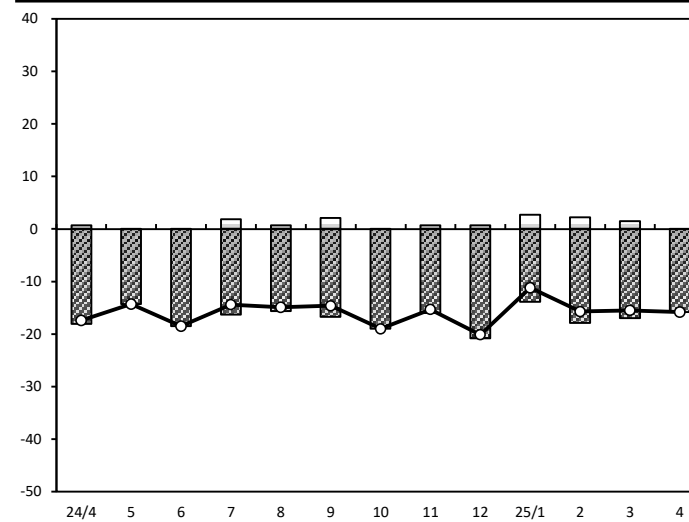
製 造 業【繊維】（前年同月比）

売上額



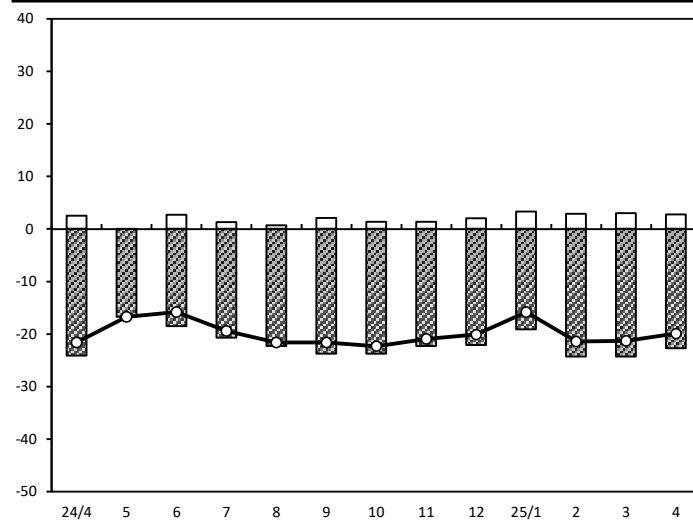
(年月)

資金繰り



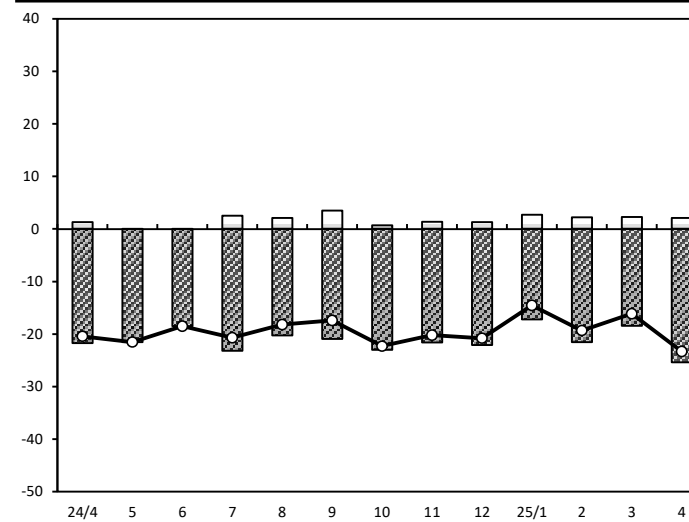
(年月)

採算



(年月)

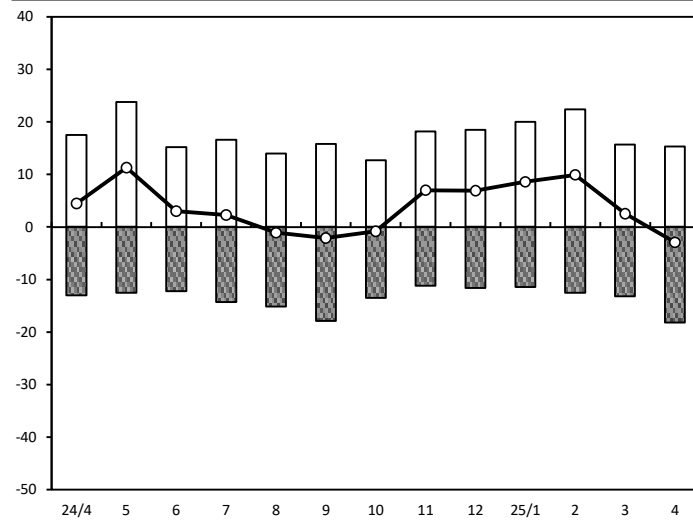
業界の業況



(年月)

製 造 業【機械・金属】（前年同月比）

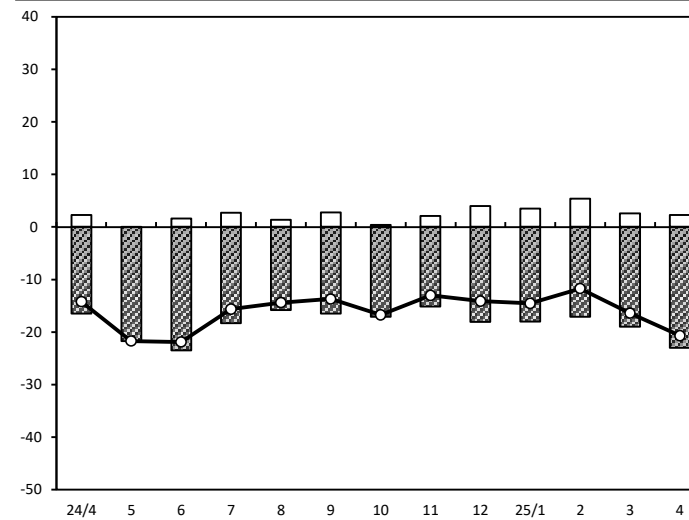
売上額



年/月	増加	減少	DI
24/4	17.5	-13.0	4.5
5	23.8	-12.5	11.3
6	15.2	-12.2	3.0
7	16.6	-14.3	2.3
8	14.0	-15.1	-1.1
9	15.8	-17.9	-2.1
10	12.7	-13.5	-0.8
11	18.2	-11.2	7.0
12	18.5	-11.6	6.9
25/1	20.0	-11.4	8.6
2	22.4	-12.5	9.9
3	15.7	-13.2	2.5
4	15.3	-18.2	-2.9

(年月)

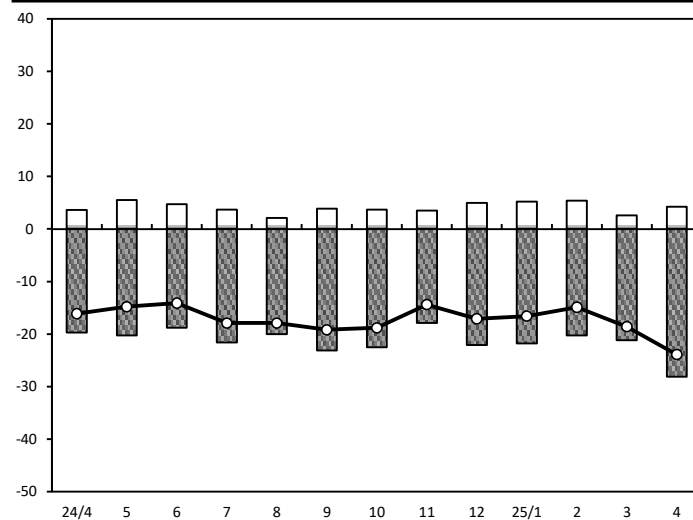
資金繰り



年/月	増加	減少	DI
24/4	2.3	-16.5	-14.2
5	0.0	-21.7	-21.7
6	1.6	-23.5	-21.9
7	2.7	-18.3	-15.6
8	1.4	-15.8	-14.4
9	2.8	-16.5	-13.7
10	0.4	-17.1	-16.7
11	2.1	-15.1	-13.0
12	4.0	-18.1	-14.1
25/1	3.5	-18.0	-14.5
2	5.4	-17.1	-11.7
3	2.6	-19.0	-16.4
4	2.3	-23.0	-20.7

(年月)

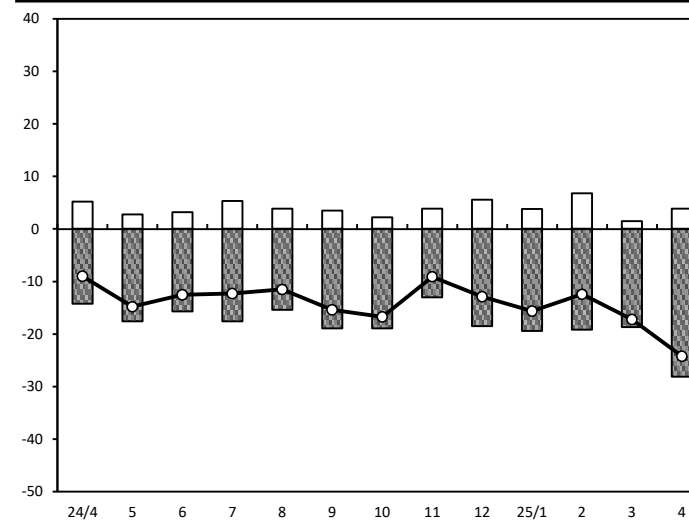
採算



年/月	増加	減少	DI
24/4	3.6	-19.7	-16.1
5	5.5	-20.3	-14.8
6	4.7	-18.8	-14.1
7	3.7	-21.6	-17.9
8	2.1	-20.0	-17.9
9	3.9	-23.1	-19.2
10	3.7	-22.5	-18.8
11	3.5	-17.9	-14.4
12	5.0	-22.1	-17.1
25/1	5.2	-21.8	-16.6
2	5.4	-20.3	-14.9
3	2.6	-21.2	-18.6
4	4.2	-28.1	-23.9

(年月)

業界の業況

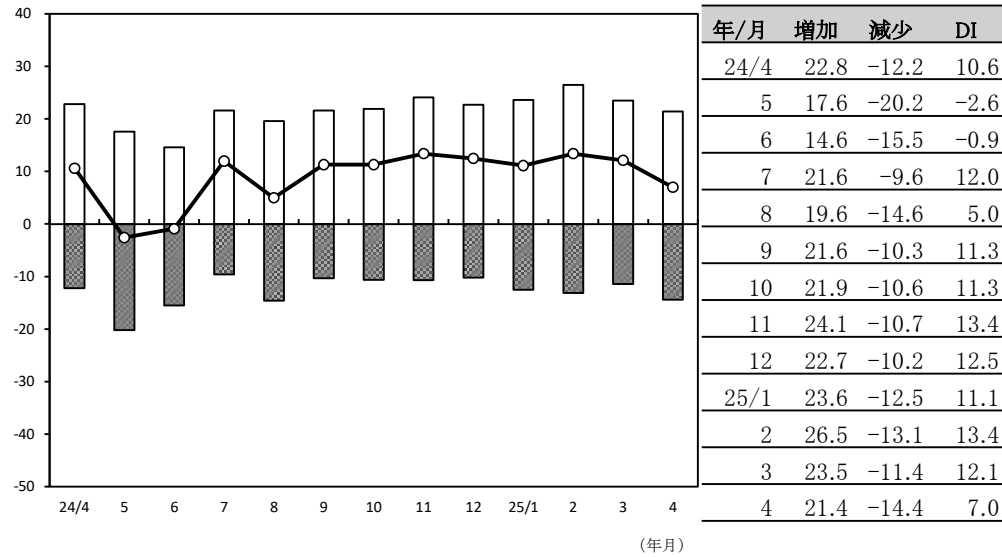


年/月	増加	減少	DI
24/4	5.2	-14.2	-9.0
5	2.8	-17.6	-14.8
6	3.2	-15.7	-12.5
7	5.3	-17.6	-12.3
8	3.9	-15.4	-11.5
9	3.5	-18.9	-15.4
10	2.2	-18.9	-16.7
11	3.9	-13.0	-9.1
12	5.6	-18.5	-12.9
25/1	3.8	-19.4	-15.6
2	6.8	-19.2	-12.4
3	1.5	-18.7	-17.2
4	3.9	-28.1	-24.2

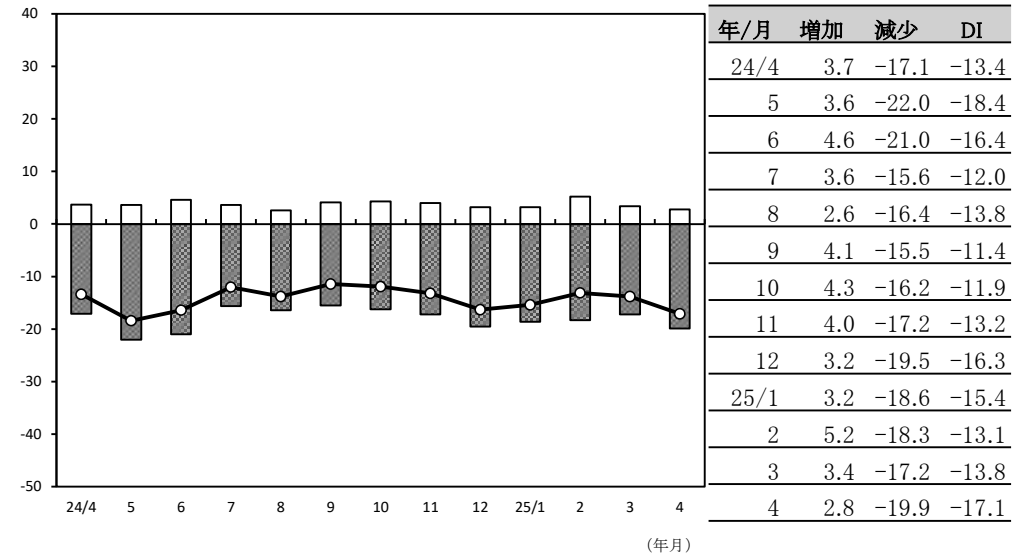
(年月)

建設業(前年同月比)

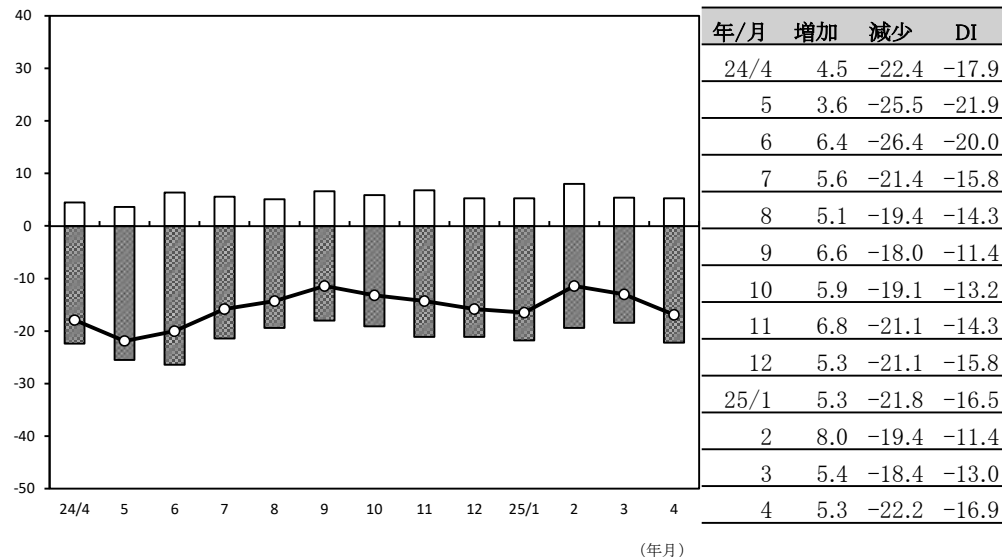
売上額



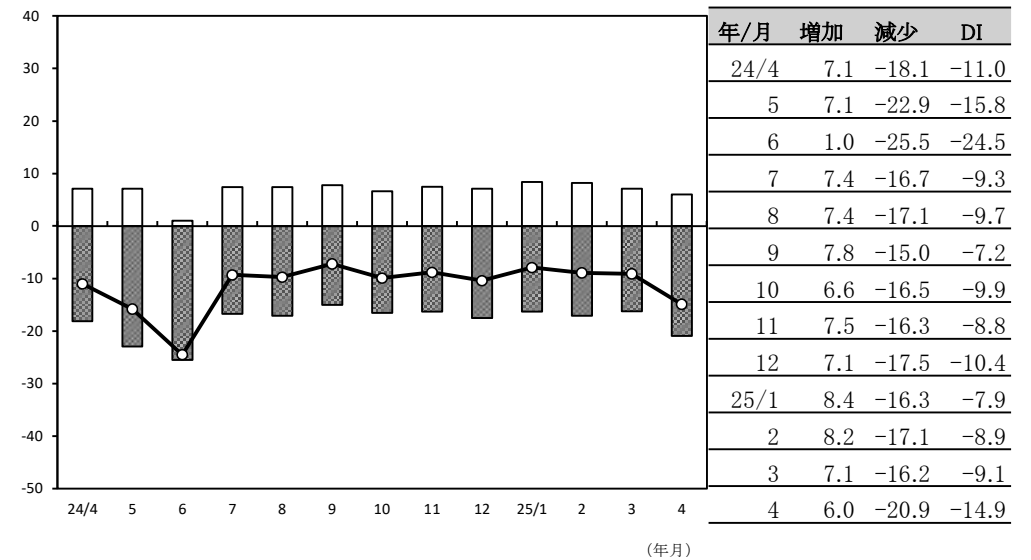
資金繰り



採算

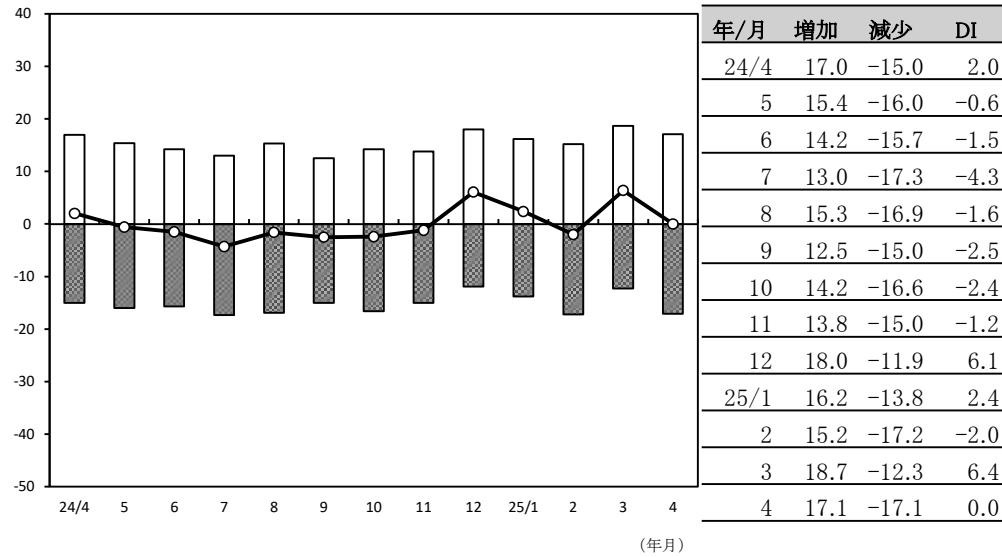


業界の業況

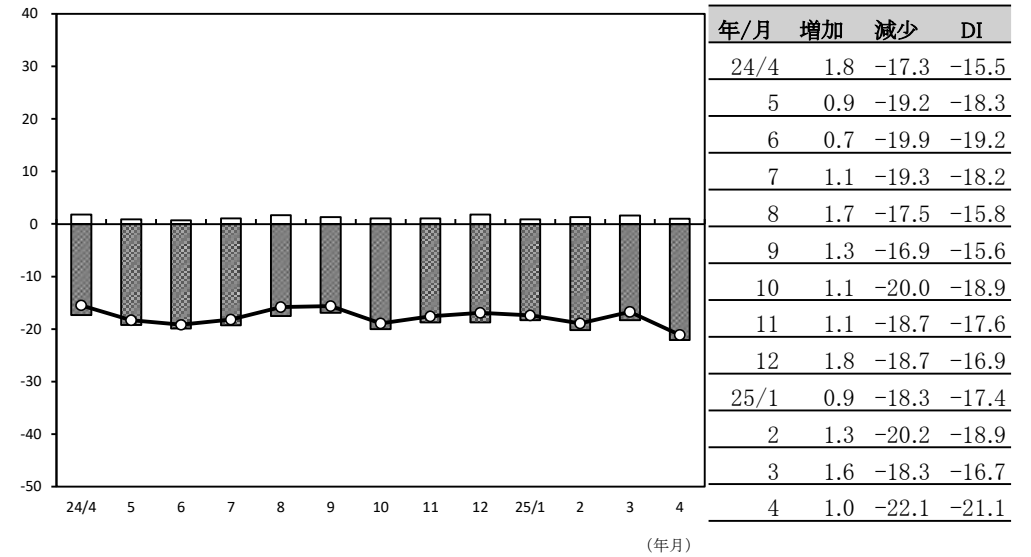


小 売 業(前年同月比)

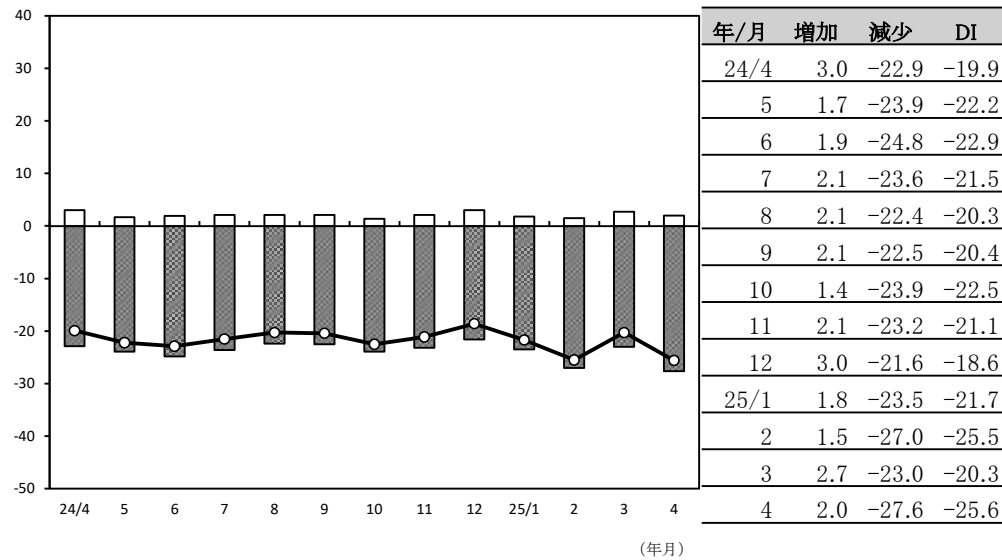
売上額



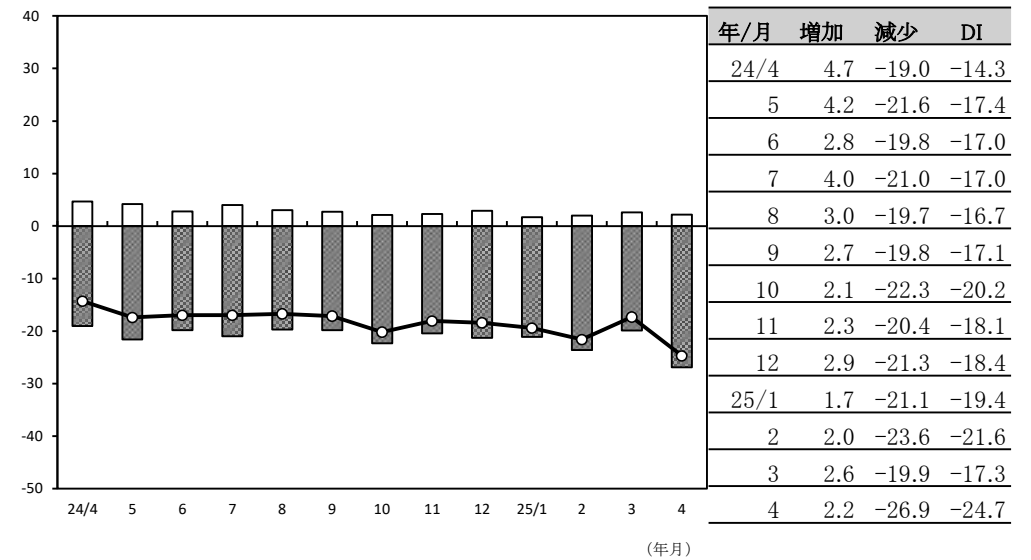
資金繰り



採算

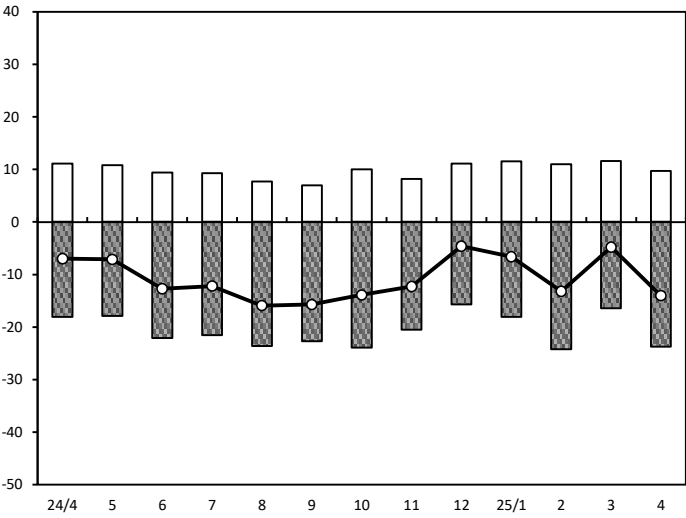


業界の業況



小 売 業【衣料品】（前年同月比）

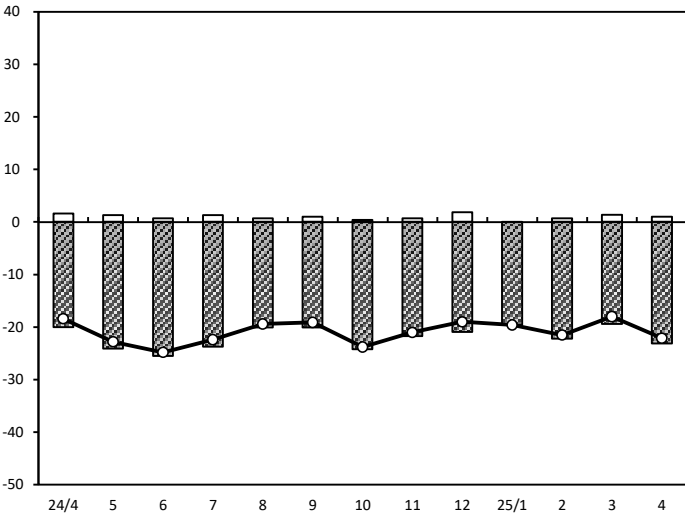
売上額



年/月	増加	減少	DI
24/4	11.1	-18.1	-7.0
5	10.8	-17.9	-7.1
6	9.4	-22.1	-12.7
7	9.3	-21.5	-12.2
8	7.7	-23.6	-15.9
9	7.0	-22.7	-15.7
10	10.0	-23.9	-13.9
11	8.2	-20.5	-12.3
12	11.1	-15.7	-4.6
25/1	11.5	-18.1	-6.6
2	11.0	-24.2	-13.2
3	11.6	-16.4	-4.8
4	9.7	-23.7	-14.0

(年月)

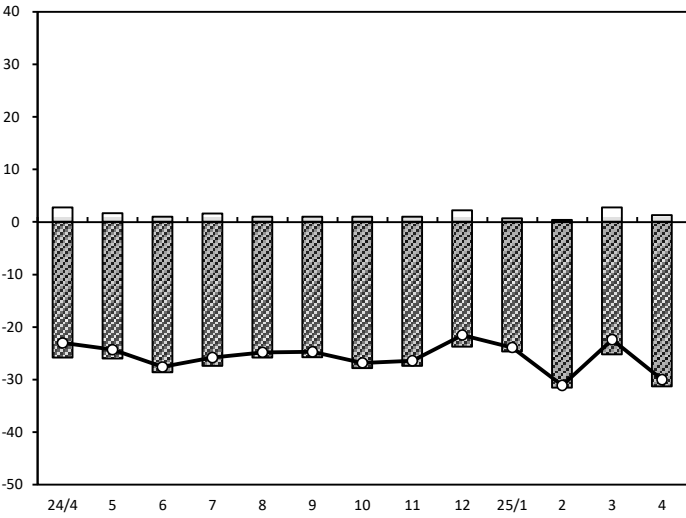
資金繰り



年/月	増加	減少	DI
24/4	1.6	-20.0	-18.4
5	1.3	-24.1	-22.8
6	0.7	-25.5	-24.8
7	1.3	-23.7	-22.4
8	0.7	-20.1	-19.4
9	1.0	-20.1	-19.1
10	0.4	-24.2	-23.8
11	0.7	-21.7	-21.0
12	1.9	-20.9	-19.0
25/1	0.0	-19.6	-19.6
2	0.7	-22.2	-21.5
3	1.4	-19.4	-18.0
4	1.0	-23.1	-22.1

(年月)

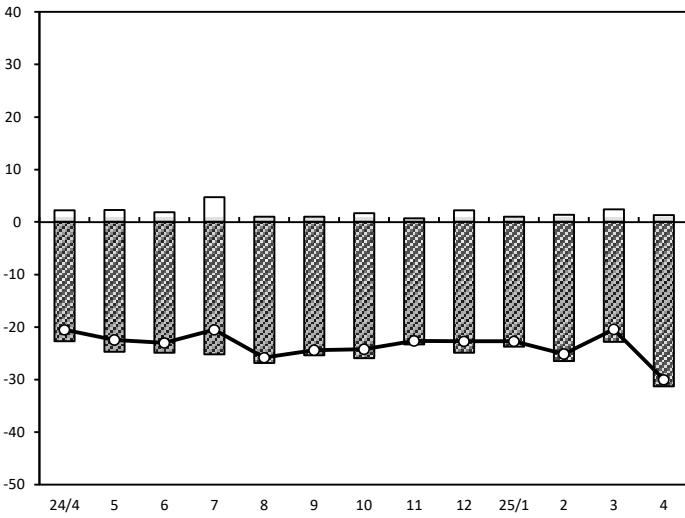
採算



年/月	増加	減少	DI
24/4	2.8	-25.8	-23.0
5	1.7	-26.0	-24.3
6	1.0	-28.6	-27.6
7	1.6	-27.4	-25.8
8	1.0	-25.8	-24.8
9	1.0	-25.7	-24.7
10	1.0	-27.8	-26.8
11	1.0	-27.4	-26.4
12	2.2	-23.7	-21.5
25/1	0.7	-24.6	-23.9
2	0.4	-31.5	-31.1
3	2.8	-25.2	-22.4
4	1.3	-31.3	-30.0

(年月)

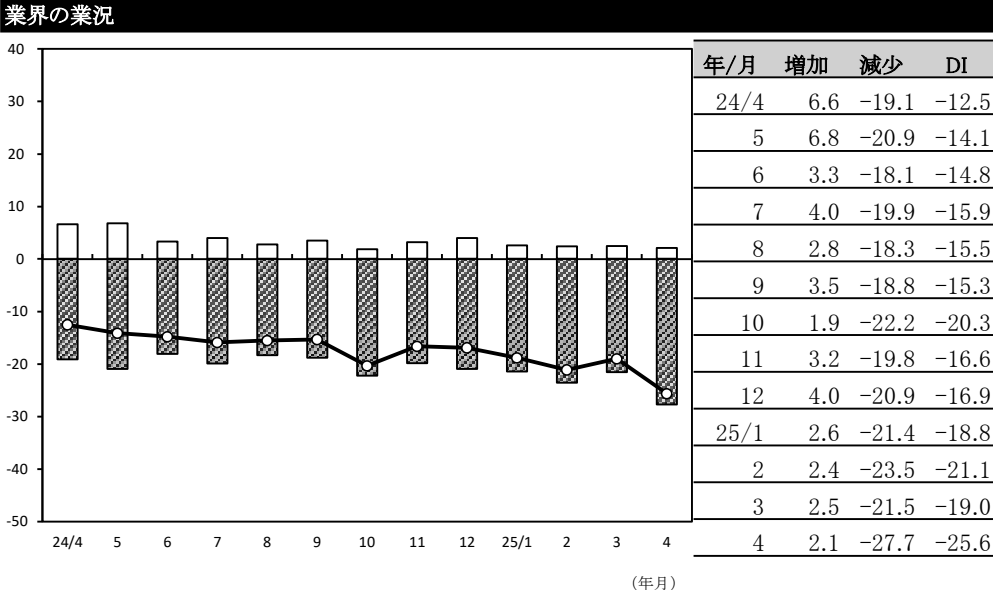
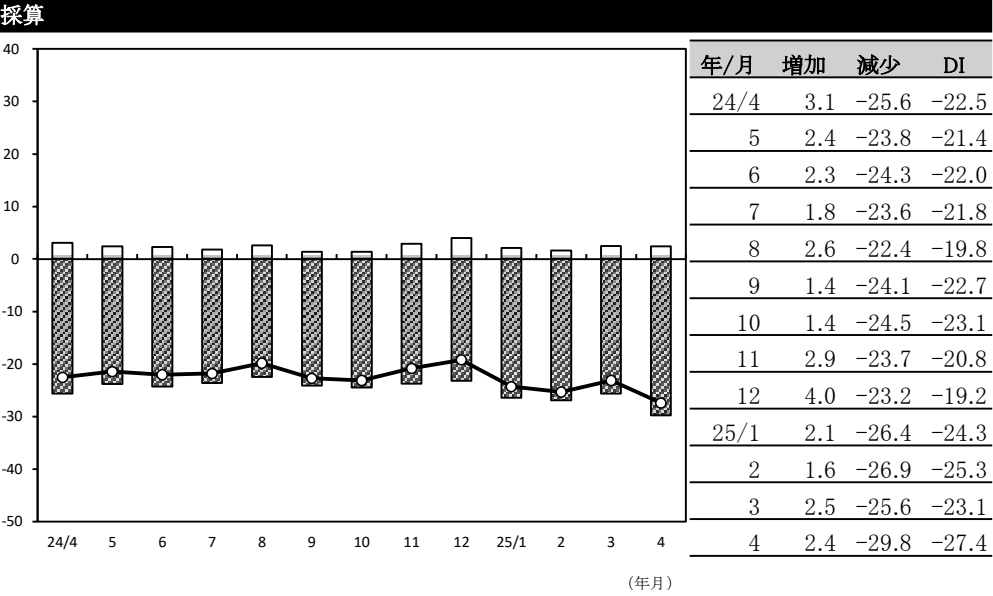
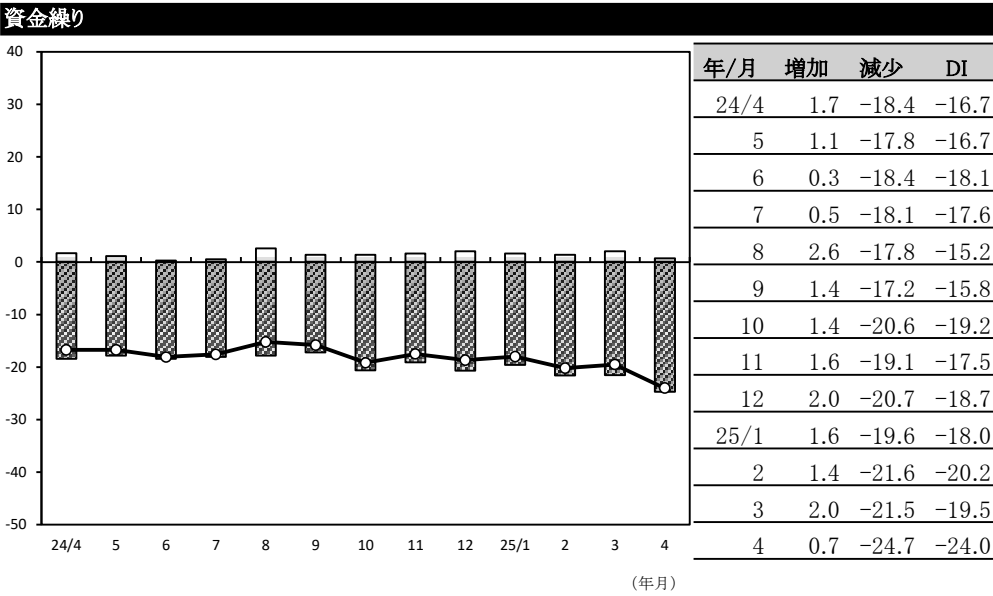
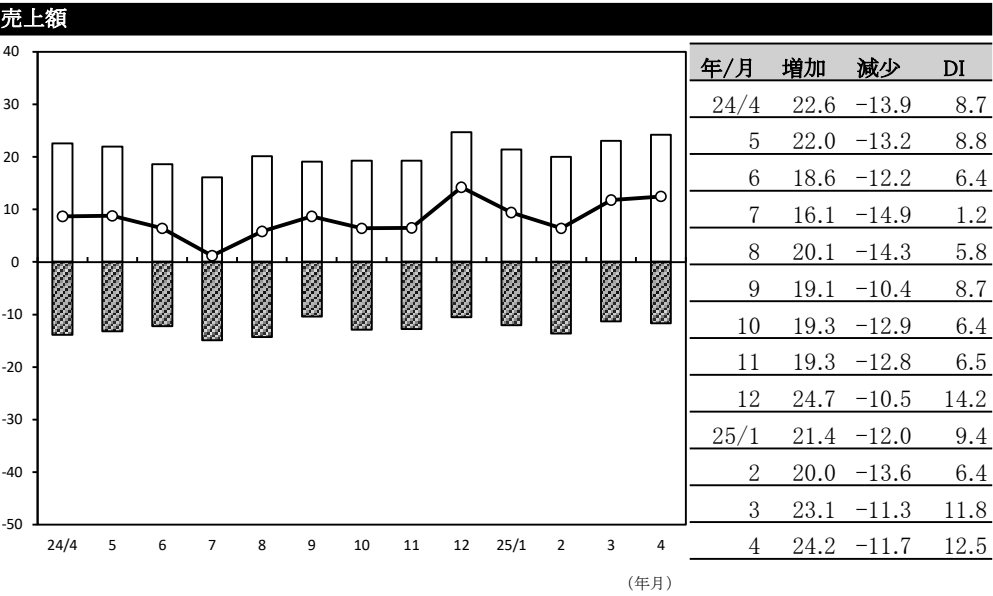
業界の業況



年/月	増加	減少	DI
24/4	2.2	-22.7	-20.5
5	2.3	-24.7	-22.4
6	1.9	-24.9	-23.0
7	4.7	-25.2	-20.5
8	1.0	-26.8	-25.8
9	1.0	-25.4	-24.4
10	1.7	-25.9	-24.2
11	0.7	-23.3	-22.6
12	2.2	-24.9	-22.7
25/1	1.0	-23.7	-22.7
2	1.4	-26.5	-25.1
3	2.4	-22.8	-20.4
4	1.3	-31.3	-30.0

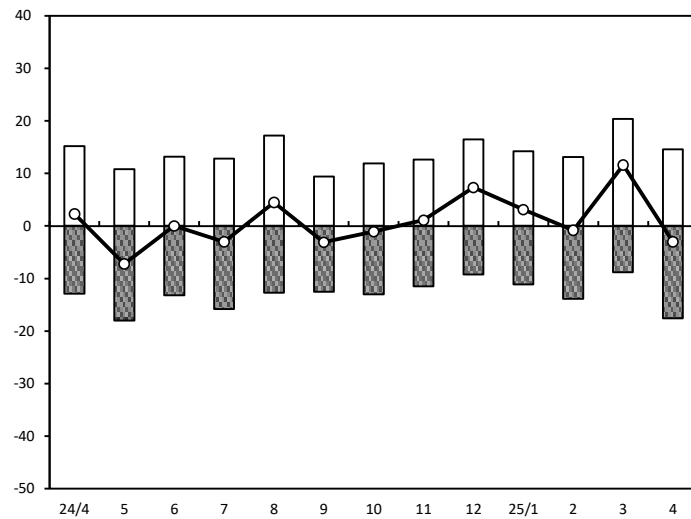
(年月)

小 売 業【食料品】（前年同月比）



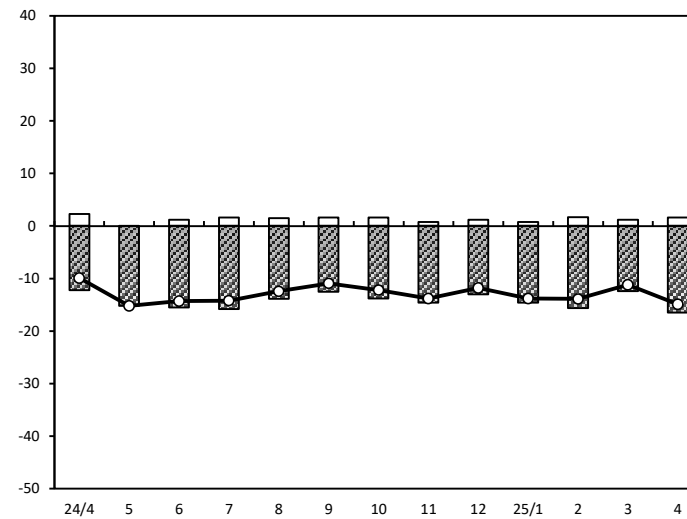
小 売 業【耐久消費財】（前年同月比）

売上額



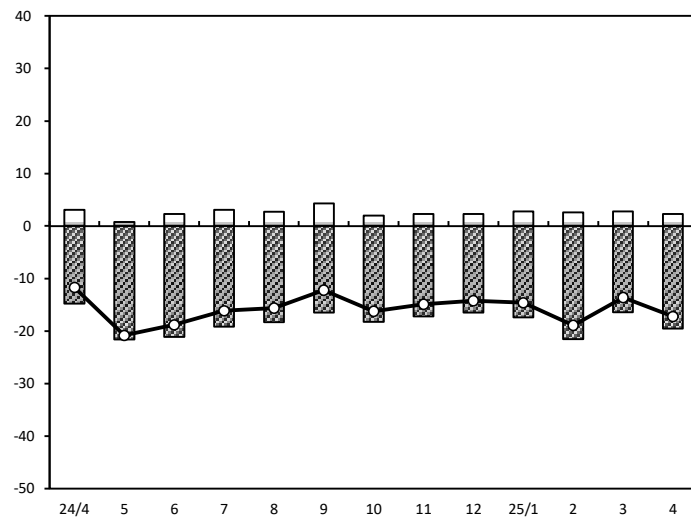
(年月)

資金繰り



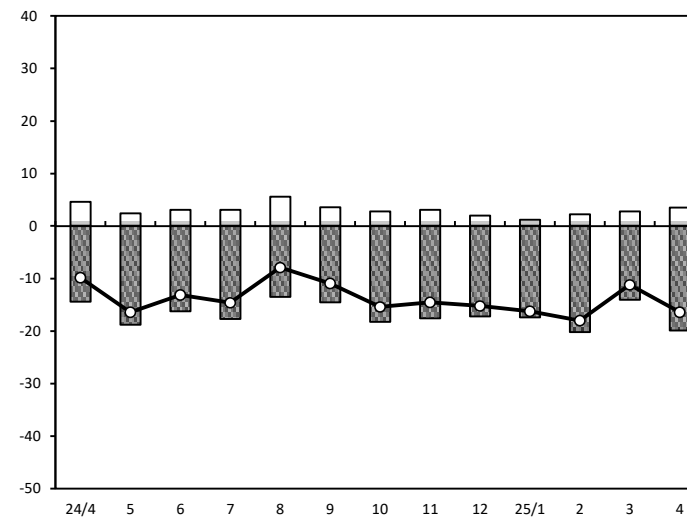
(年月)

採算



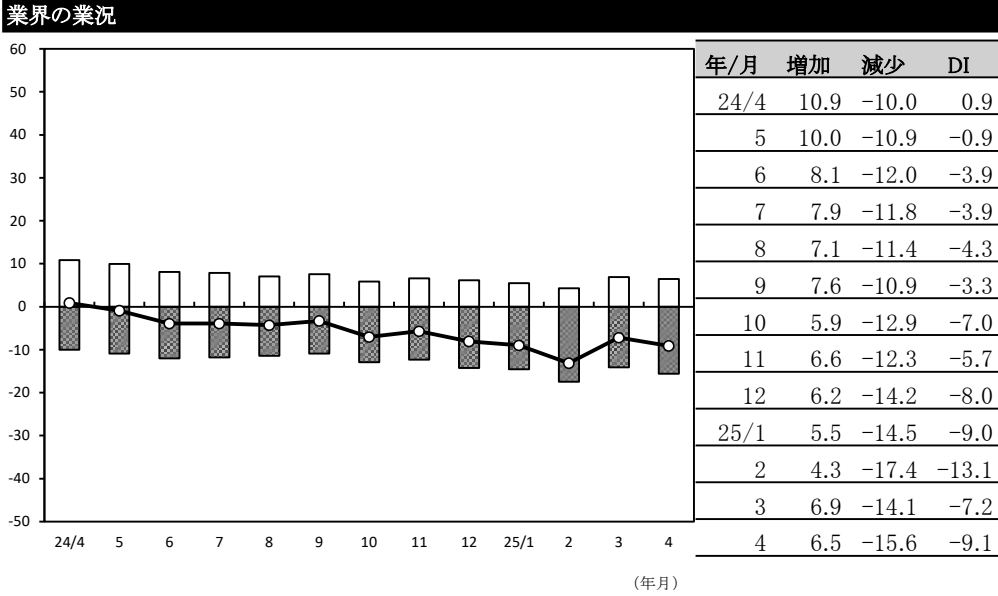
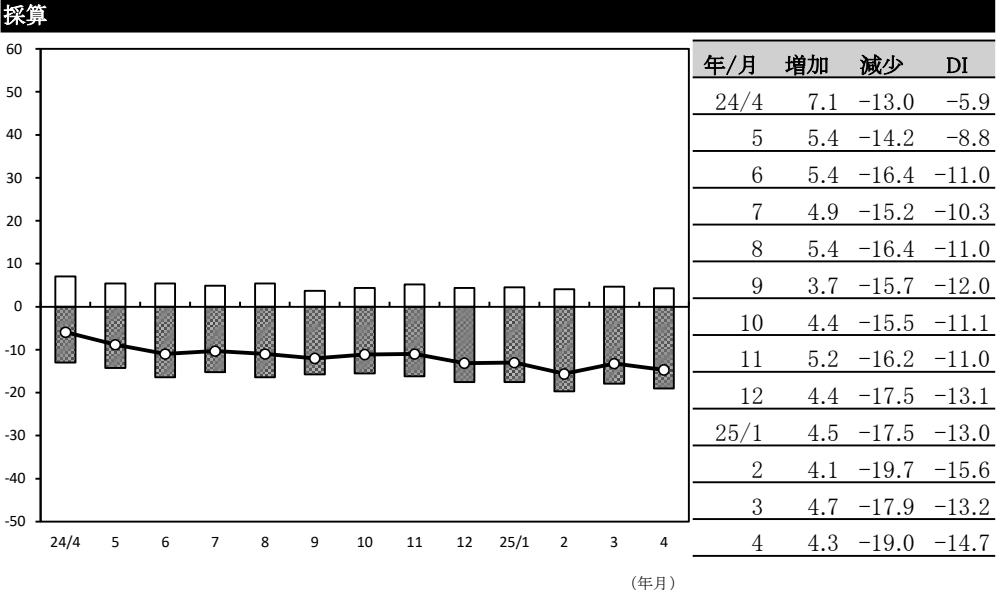
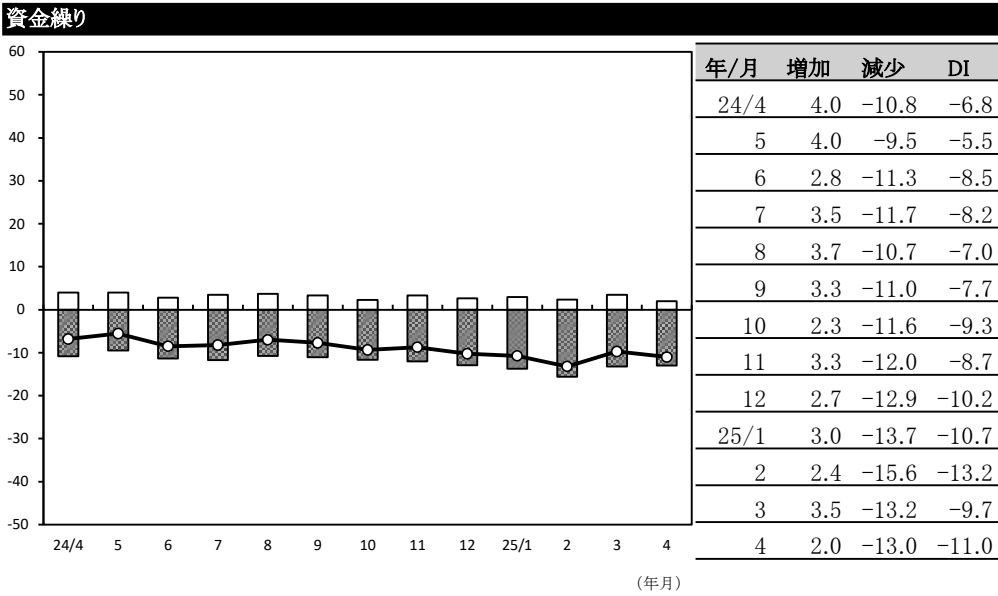
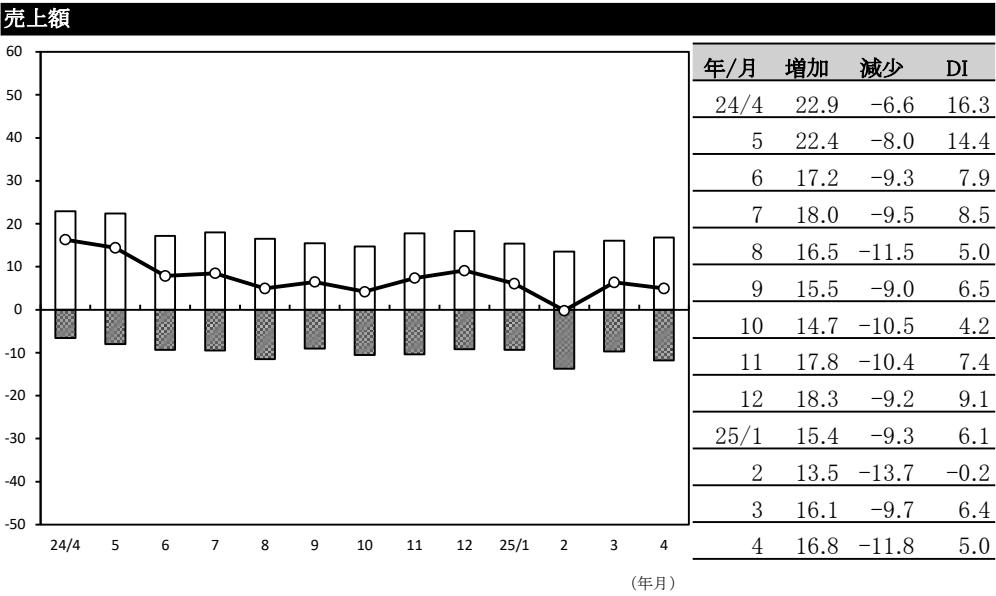
(年月)

業界の業況



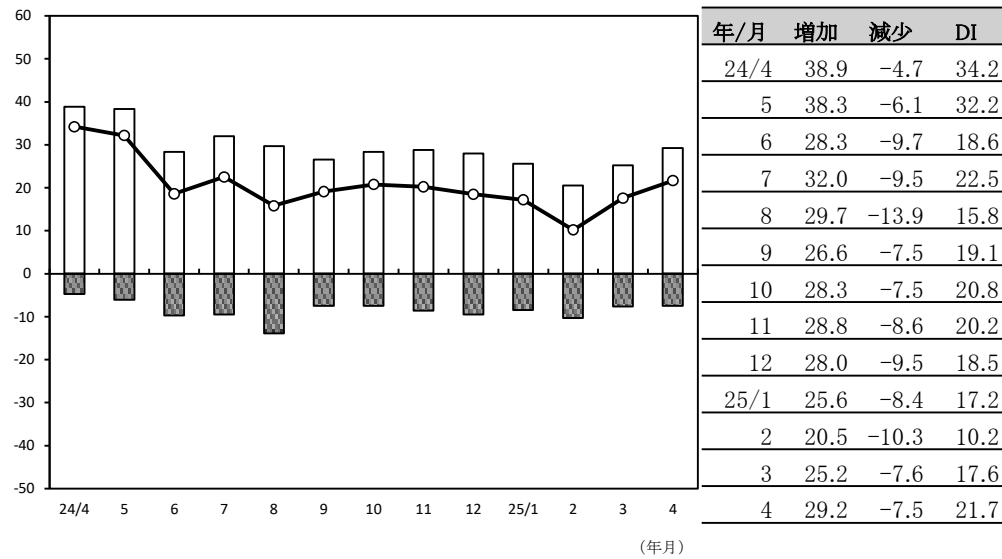
(年月)

サービス業(前年同月比)

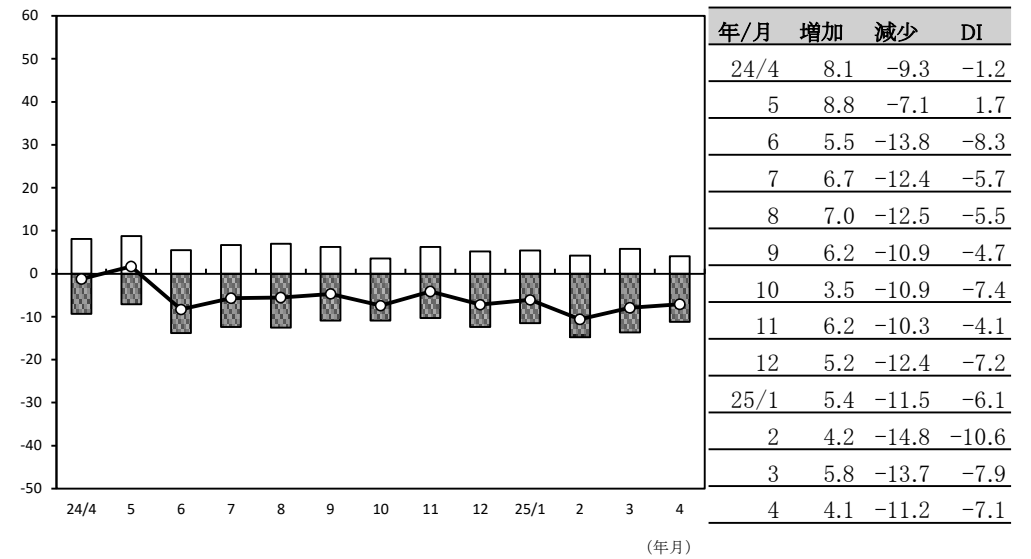


サービス業【旅館】（前年同月比）

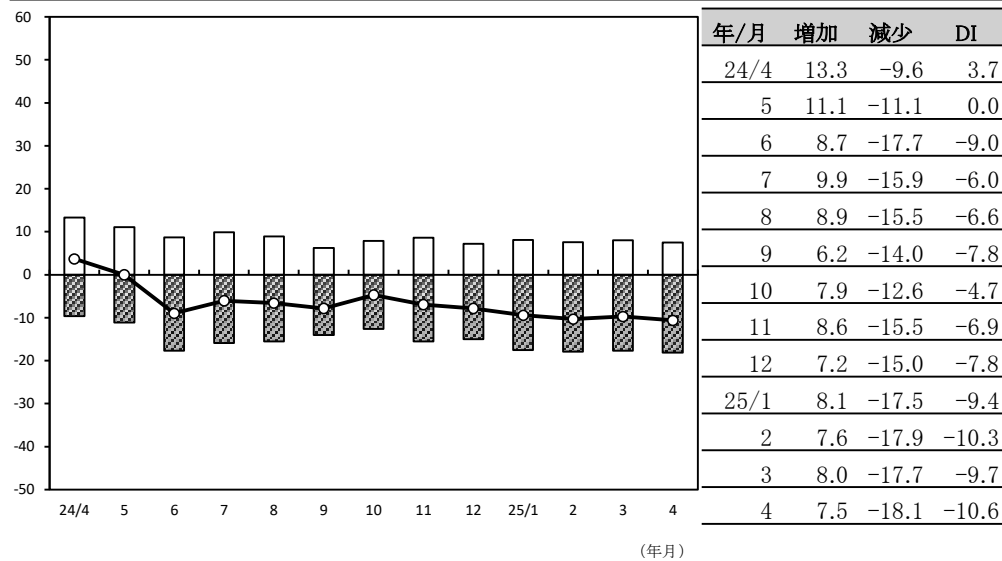
売上額



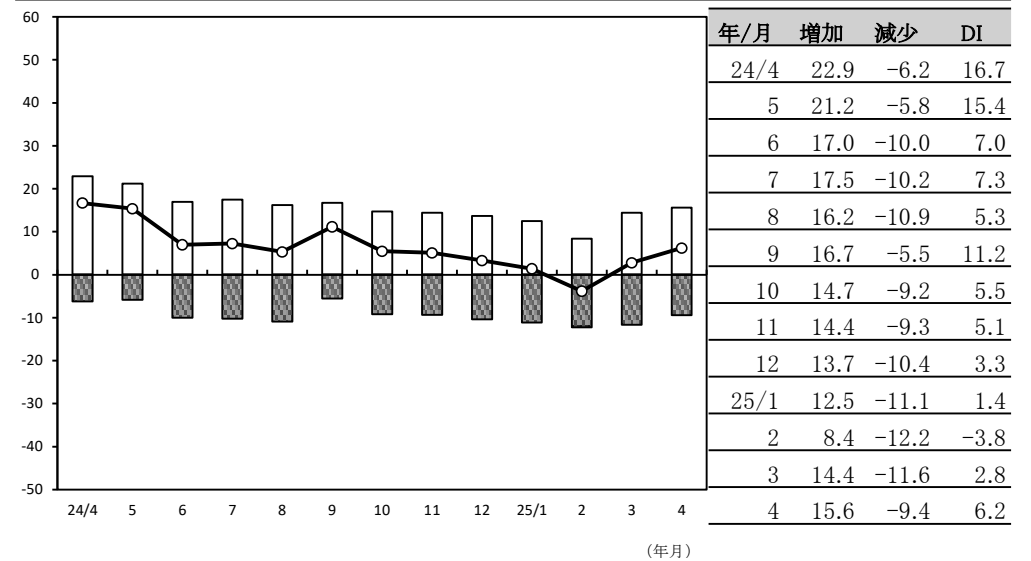
資金繰り



採算

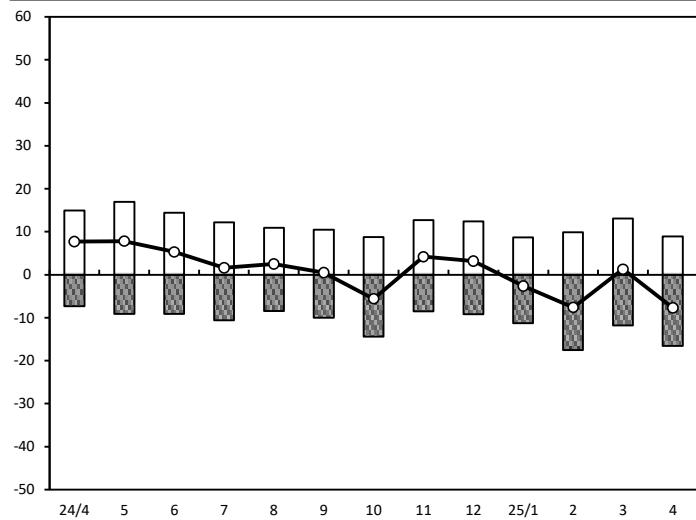


業界の業況



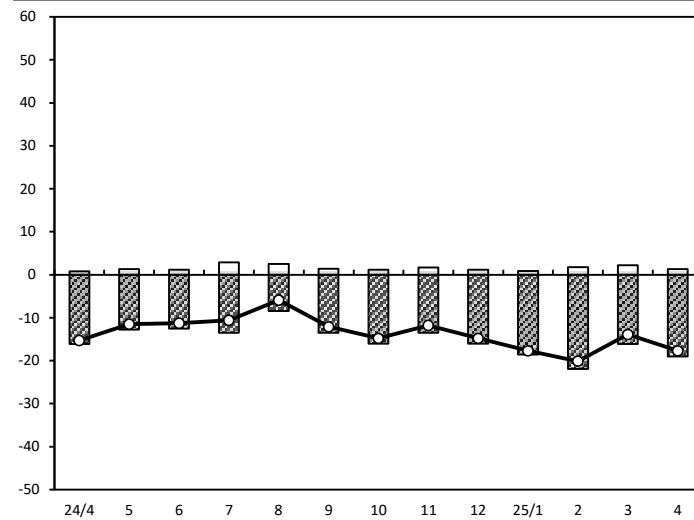
サービス業【クリーニング】（前年同月比）

売上額



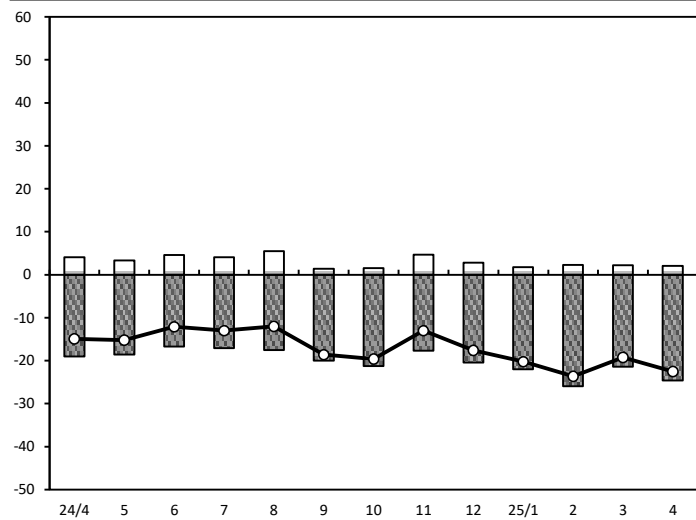
（年月）

資金繰り



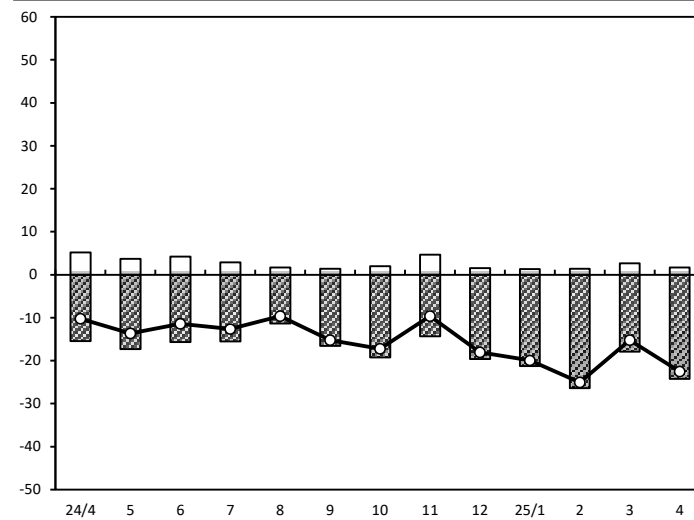
（年月）

採算



（年月）

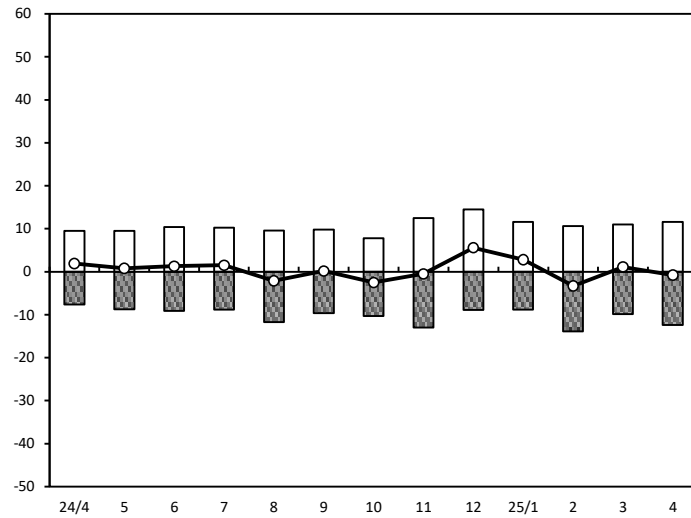
業界の業況



（年月）

サービス業【理・美容】（前年同月比）

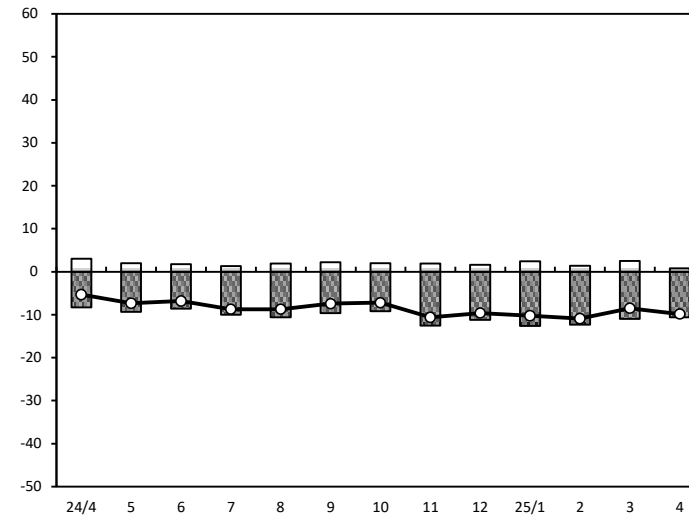
売上額



年/月	増加	減少	DI
24/4	9.5	-7.6	1.9
5	9.5	-8.7	0.8
6	10.4	-9.1	1.3
7	10.3	-8.8	1.5
8	9.6	-11.7	-2.1
9	9.8	-9.6	0.2
10	7.8	-10.3	-2.5
11	12.5	-13.0	-0.5
12	14.5	-8.9	5.6
25/1	11.6	-8.8	2.8
2	10.6	-13.9	-3.3
3	11.0	-9.9	1.1
4	11.6	-12.4	-0.8

(年月)

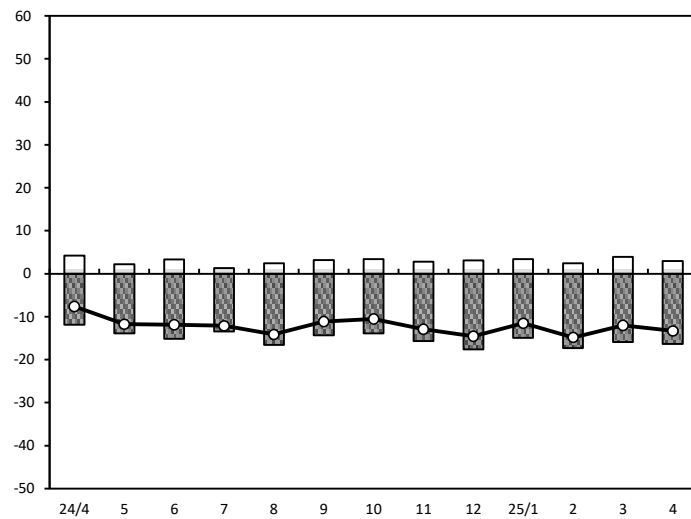
資金繰り



年/月	増加	減少	DI
24/4	3.0	-8.3	-5.3
5	2.0	-9.3	-7.3
6	1.8	-8.6	-6.8
7	1.3	-10.0	-8.7
8	1.9	-10.6	-8.7
9	2.2	-9.6	-7.4
10	2.0	-9.2	-7.2
11	1.9	-12.5	-10.6
12	1.6	-11.2	-9.6
25/1	2.4	-12.6	-10.2
2	1.4	-12.3	-10.9
3	2.5	-11.0	-8.5
4	0.8	-10.6	-9.8

(年月)

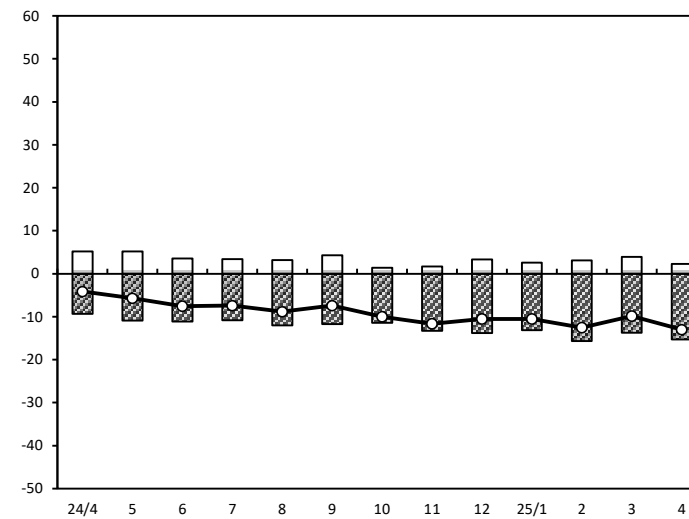
採算



年/月	増加	減少	DI
24/4	4.2	-11.8	-7.6
5	2.2	-13.9	-11.7
6	3.3	-15.1	-11.8
7	1.3	-13.4	-12.1
8	2.4	-16.5	-14.1
9	3.2	-14.3	-11.1
10	3.4	-13.9	-10.5
11	2.8	-15.7	-12.9
12	3.1	-17.6	-14.5
25/1	3.4	-14.9	-11.5
2	2.5	-17.3	-14.8
3	3.9	-15.9	-12.0
4	3.0	-16.3	-13.3

(年月)

業界の業況



年/月	増加	減少	DI
24/4	5.2	-9.3	-4.1
5	5.2	-10.9	-5.7
6	3.6	-11.1	-7.5
7	3.4	-10.8	-7.4
8	3.2	-12.0	-8.8
9	4.3	-11.7	-7.4
10	1.4	-11.4	-10.0
11	1.7	-13.3	-11.6
12	3.3	-13.8	-10.5
25/1	2.6	-13.1	-10.5
2	3.1	-15.6	-12.5
3	3.9	-13.7	-9.8
4	2.3	-15.3	-13.0

(年月)

小規模企業景気動向調査(4月期)における商工会経営指導員の主なコメント

*コメントについては、経営指導員回答の原文を掲載。

1. 景気全般

<改善傾向を示すコメント>

地域のイベントなどが開催されるようになり賑わい(景気回復)を取り戻しつつあるように感じる。物価高騰による仕入れ価格の上昇もあるが、燃料コストなどの削減しづらい負担が影響するようになってきている。地域における景気は回復傾向にある。

(北海道新ひだか町商工会)

今回の調査対象とした事業者の多くについては、景気が好転しているという印象を受けた。一方で、採算性が悪化している事業者も一定数見受けられたため、継続して商工会にて支援を行っていききたい。

(茨城県取手市商工会)

製造業や建設業では、緩やかな景気回復傾向が見られる。一方で、業種を問わず、人出不足を経営課題とする事業者が多く、雇用の確保と定着化が成長の鍵となると考える。

(富山県射水市商工会)

当地では冬の期間は売れ行きが悪化する業態が多い。4月となり好転基調となった事業所が多い。1-3月は融資需要も多いが4月は落ち着いている。

(岐阜県中津川北商工会)

業種間で差はあるものの、建設業や小売業者は比較的仕入れ価格高騰に対して、販売価格への転嫁は出来ているように伺えた。しかし、中小・零細企業は取引先や消費者の顔色を伺い、価格転嫁出来ていないケースもあった。本年度、香川県は瀬戸内芸術祭の開催に伴い、特にサービス業は他県や外国客誘致の準備に取り掛かっており、強い期待を抱いていた。

(香川県さぬき市商工会 寒川支所)

<悪化傾向を示すコメント>

すべての業種において物価高騰の影響を受けているように感じる。特に仕入の多い業種は影響を受けやすいと思われる。

(青森県野辺地町商工会)

物価高騰、人件費の上昇により利益を確保できず、借入金の返済が苦しくなっている。特にコロナ融資が重しとなっていることから、制度見直しの声が多くなっている。

(岩手県前沢商工会)

変化が顕著であるコメントは少なかったが、消費者動向への不安のコメントが多かった印象。また、海外情勢の影響に対する懸念も散見され、5月以降の状況に不安を抱いている。

(宮城県栗原南部商工会 瀬峰支所)

全体的には、物価高騰の影響が継続する中、今月に入り更に値上げ対象品目が増加する等、実質賃金が物価上昇に追いつかず消費動向は停滞している。また、売り手市場により初任給は大幅な上昇傾向にあるものの、お金のかかる中間層に賃上げ対応している企業は少なく、消費停滞の要因の一つになっているものと思われる。特に消費人口の少ない地方企業にとっては、賃上げも難しく、経営に直結する問題として危機感を持っている企業も少なくない。

(福島県会津美里町商工会)

価格が安定していた米の小売価格が昨年の倍以上になるなど、相次ぐ物の値上げが消費者の財布のひもを堅くする雰囲気を作り出している。賃上げ、価格転嫁、従業員確保、生産性の向上等経営課題が山積しており、それら課題克服の取り組み(努力)とともに国の支援策が待たれている状態である。

(新潟県寺泊町商工会)

全体的に物価や人件費高騰によるコスト増で採算は厳しい状況。何度も値上げしているため、これ以上の値上げは厳しいと考えている事業者が多い。

(静岡県芝川商工会)

農作物の不作による食品業界のダメージが多くみられる。人材不足、賃上げ、物価高騰による経費を売上でカバーしていききたいものの、消費者の購買力も低下していると売上に反映されない。消費者の購買意欲を高めるキャンペーンやイベントを検討することも大事であると感じている。

(三重県伊勢小俣町商工会)

全体としてやや低調気味。物価高によるコスト増や消費者の節約志向が影響し、売上や利益の確保が難しい状況が続いている。ただし、生活に密着したサービス業などでは安定した需要が見られ、価格転嫁もしやすいため、比較的影響が軽微な業種もある。業種ごとの差が目立っている。

(岡山県岡山北商工会)

全般的に仕入単価の上昇が続いている。トランプ関税に関しては常用車やタイヤ、建設機械、医療機械を取り扱う事業所から不安の声が上がっていた。

(高知県中芸地区商工会)

全業種物価高騰による仕入値上昇が景況変動の主たる原因になっている。それに伴い売値も上げることができればいいが、地域性等を鑑みると難しいように思える。

(長崎県壱岐市商工会)

2. 製造業

<改善傾向を示すコメント>

食料品製造業では、原材料価格の高騰や人手不足などの課題に直面しつつも、観光需要の増加や、設備投資による新規需要の取り込みにより、持ち直しの動きが見られる。

(富山県射水市商工会)

設備投資需要で売上が持ち直しつつあるという声があった。

(広島県五日市商工会)

○畳製造業では、受注が減り従業員を削減したため売上減少したが利益確保に努めている。

○鉄工業では、新規分野の受注を増やすことで売上拡大を図れている事業者もある。

(香川県高松市中央商工会)

資材高騰しているが、価格転嫁できている。円安の影響もあり、海外展開を検討しているが、トランプ関税の影響を危惧している。

(福岡県古賀市商工会)

建設業が活発であり、資材の加工などを行う業種は増加傾向にある。しかし人手不足の影響もあり依頼があっても受注ができない状況もあり、改善が必要となっている。仕入単価の上昇はあるものの、採算はやや好転の状況である。

(鹿児島県知名町商工会)

<悪化傾向を示すコメント>

食料品製造業関連の事業者は、前年同月比で売上がやや減少している。原材料価格の上昇が続いており、仕入単価は上昇傾向にあるため、採算がやや悪化し、資金繰りもやや厳しくなっている。業界全体としても、コスト増加と需要低迷の影響でやや悪化の傾向が見られる。今後、価格転嫁の工夫や生産効率の向上が求められる状況にある。機械金属製造業関連の事業者は、鋼材や部品の仕入単価の上昇に加え、電気代や人件費の増加が採算を圧迫し、業況はやや悪化傾向にある。

(栃木県那珂川町商工会)

機械金属製造業については相互関税の問題の影響から、先行きの不透明感があり、新たな案件の問い合わせが減少している。

(千葉県香取市商工会)

製造業関連の事業者は、トランプ政権による関税率の大幅引き上げや世界経済の悪化懸念のため、対米輸出のコスト増加や受注減少、利益悪化に直面している。加えて、政策の不透明感が設備投資判断を慎重化させ、サプライチェーンの見直しや生産拠点の分散も進んでいる。今後は、米国依存の低減や成長市場への展開が課題となっている。

(山梨県身延町商工会)

食品製造関連の事業者は原材料費の高騰が続く中、価格転嫁が難しく、採算が圧迫されている。特に中小企業ではコスト増加に対応しきれないケースが増加している。金属製品加工業については、仕入単価が高止まりしており、材料費については価格転嫁できたが、工賃など人件費部分については、価格転嫁が難しく、採算は悪化している。末端の下請けほど価格転嫁は難しい現状が続いている。

(長野県臼田町商工会)

輸出関連事業者は、米国のトランプ関税に伴い関税分の値下げを要求されていたり、関税の交渉が終了するまで取引をとめている商品もあり、しばらくは減収、減益になる恐れである。

(京都府木津川市商工会)

食料品においては値上げをしていることもあり売上は増加。しかしながら原材料価格の高騰が止まらず、来月に更に値上げを予定している。値上げを何度か実施している為、客離れの不安はある。繊維工業においては、人手不足がかなり深刻な状況。技能実習生の受入体制の整備によるマンパワー確保や、製造設備の更新(最新化)による生産性向上を図っている企業もある。機械金属においては、見積依頼から受注に至らないケースが多い。小ロット生産受注も短納期のため外注に出さざるを得ないため利益確保が難しい。材料代は高止まり。向こう3か月の動きも鈍く、不安を募らせている先が多い。

(鳥取県鳥取市西商工会)

食料品製造業においては、原材料費をはじめとする全般的なコスト上昇により、経営状況が著しく悪化しているとの声が多く聞かれる。清酒製造業では、アルコール需要の減少傾向が顕著で、全国的にはインバウンド需要の回復や世界遺産登録などのプラス要因があるにもかかわらず、業界全体としては回復基調に転じていないといった声が聞かれる。さらに原材料の米の価格高騰が一層経営を圧迫しており、業況の悪化に拍車をかけている。

(島根県石見商工会)

物価高騰の影響やトランプ関税の影響で市場で買い控え等が起きており受注が減少傾向にある。また後継者がいない事業所の廃業等が増えてきており取引先が徐々に減少してきている。

(福岡県みやま市商工会)

原材料費やエネルギーコストの高止まり、円安による輸入資材価格の上昇により、依然として収益環境は厳しい。需要面では持ち直しの動きがみられる一方、供給面ではコスト負担や人材確保といった構造的課題が継続している。

(沖縄県金武町商工会)

3. 建設業

<改善傾向を示すコメント>

仕入単価は落ち着いてきている。リフォーム中心であるが、今年は年明けから3月まで大口の仕事が入るなど出足は順調、休む間がないほどであった。4月から益明けまで仕事が途切れることがなく幸先が良い。
(秋田県由利本荘市商工会)

建設業関連の事業者は、売上は公共工事や住宅リフォーム需要の回復によりやや増加傾向にある。資材価格の上昇傾向は続いており、仕入単価もやや上昇しているが、価格転嫁がある程度進んだことで採算はやや好転している。

(栃木県那珂川町商工会)
年度の切り替え時期は景気の影響を受けにくく、学生寮やアパートの修繕、リフォーム工事が入ってくる。
(埼玉県東松山市商工会)

市内において例年リフォーム工事助成制度を行っており、募集時期であることから受注件数増加に好影響を与えている。工事における材料費・人件費の高騰が課題

(東京都福生市商工会)
TSMC誘致の影響による海外からの定住者、就労者の急増を要因とした、住宅関連の需要増加が伺える。特にマンション、アパート建設に伴う宅地化整備等の関連企業の需要増加が目立っている。今後の見通しとしては、このことに伴う交通渋滞が深刻化しており、緩和のための路線新設、道路建設も検討されているため、安定した需要が見込まれる。また管内地域は利便性から宅地開発が進み、地価高騰もある中においても住宅需要は安定している。

(熊本県熊本市託麻商工会)

<悪化傾向を示すコメント>

建設業関連の事業者は、受注は回復傾向にあるものの人手不足により受注キャパが限られ、売上は不変という状況である。その中で仕入価格・エネルギー価格・人件費の上昇傾向が業況にマイナスの影響をもたらしている。

(茨城県つくば市商工会)
建設業関連では年度初めということもあり公共工事が出ていない状況であり民間からの受注も少ない状況が続いている。

(群馬県しづかわ商工会)
製造業と同様、原材料価格の高騰も落ち着くことなく、経営・財務力の確保に懸命である。最近、運転資金の相談が特に建設業において目立っている。

(東京都清瀬商工会)
土木建築工事業者について、新幹線関連工事特需も終わり下水道工事も整備完了のためなくなった影響から、大手同業者も少額工事をとりにくる。そのため、今後の売上確保が心配。

(福井県福井東商工会)
建設業では一定の受注はあるものの、人手不足や資材価格の高騰が収益を圧迫し、先行き不透明感が残る状況である。

(山梨県昭和町商工会)
受注件数・売上は増加しているが、仕入単価・外注費が増加しているため利益は伸びていない。価格転嫁が難しい。外注費を抑えるため、小規模な案件に特化した経営戦略をとっている。受注件数は増加しているが、売り上げ単価は減少、仕入単価が上昇し、採算は悪化している。人材育成に苦労しており、資材の仕入れ値も上がっている中で採算が取れなかった場合の責任の所在についてどの程度まで従業員に負担させるべきか悩んでいる。

(静岡県天竜商工会)
住宅建設関連の事業者においては、新築住宅の受注がなかなか以前の水準に戻ってこない。リフォーム関連工事は増えてきているが、木材等輸入資材の高騰を採算悪化させる要因となっている。

(愛知県飛島村商工会)
仕入れ値高騰や人件費の高騰を価格に反映させたことで売上も増加している。資金繰りには問題はないが、人材不足が慢性化しており、1人当たりの作業量の増加が顕著である。

(三重県伊勢小俣町商工会)
人手不足と人件費の上昇が、自社の業況を直撃。採算の取れない工事の受注を見送る等の受注の選別や見積等での価格転嫁をおこなっている。人を確保できる、できない(賃金が払える、払えない)で、業況に大きな差が出ています。

(滋賀県甲賀市商工会)
住宅関連の事業者は、建築資材の価格高騰に伴い販売価格も上昇傾向にある。昨今住宅ローンの市場金利も上昇していることから、着工件数はやや減少しているとのこと。

(香川県さぬき市商工会 寒川支所)
原油高、原料費高、物価高、円安等の影響により、売上は増加しているが利益は横ばいかマイナスになっている。

(熊本県大津町商工会)

4. 小売業

<改善傾向を示すコメント>

生鮮食品卸、小売：近隣の同業者が高齢の為廃業となり、廃業先と取引していた企業からの旋回受注が増加。価格交渉もしやすく価格高騰に対応できている。

(山形県南陽市商工会)

食品小売業関連の事業者は、同業者(酒小売)が地震の影響で廃業した分、販売先が増えた。

(石川県能登鹿北商工会 田鶴浜支所)

冬季を明け観光客等の地域外の人流が回復してきており、前月と比較すると好転といえる。

(岐阜県中津川北商工会)

コンビニ事業者は、売上高・仕入高共に上昇しており、採算は向上している。人手不足が不安材料である。電子マネー詐欺が多発しており、対応に苦慮されている。

(兵庫県佐用町商工会)

<悪化傾向を示すコメント>

大型スーパー出店と移動販売の村内進出により村内の小売業全体がこれらとの差別化を図らなければいけなくなっている。しかし高齢の事業主ほど対応が間に合わず廃業を選ぶ傾向にある。

(青森県東通村商工会)

衣料品小売業においては、大手メーカーの商品に需要が集中し、小規模事業者が取り扱う商品への需要は低迷している。それに加え仕入単価上昇が利益圧迫に追い打ちをかけている。食料品小売業においては仕入れ価格の上昇が継続しており、採算性に悪影響となっている。耐久消費財小売業(家電製品)関連事業者はエネルギー価格上昇が、消費者の省エネ意識に好影響を与えており、業況的にやや好転してきていると考える。

(茨城県つくば市商工会)

物価高による仕入れ価格の高騰が続いており、適正な価格転嫁が厳しい状況である。また大型店舗の出店や低価格帯の製品が大量生産され、小規模事業者に大きな影響を与えている。

(東京都東大和市商工会)

小売業関連の事業者は、トランプ政権の関税政策による仕入コスト増加や物価高騰のため、商品の値上げや消費者の買い控えが進み、売上や業績の悪化に直面している。特に地方の中小小売業は、消費マインドの低迷や人手不足も重なり、経営の先行きに慎重な姿勢を強めている。

(山梨県身延町商工会)

備蓄米の放出がなされているが小さな小売業では仕入ができず、高い価格の米を売るしかほかにない状況。難しい経営を迫られている。

(長野県上松町商工会)

農作物の不作による仕入れ値が昨年度同月以上に上がっている。特に高騰している農作物は、販売価格に転嫁すると消費者も高すぎて買わず、在庫を抱えてしまうことから採算が取れない悪循環に陥ってしまう。

(三重県伊勢小俣町商工会)

小売業では業種ごとに明暗が分かれている。衣料品小売業は、気温の低さが春物販売に影響し売上がやや減少するも、仕入単価や収支面には変化がなく、全体としては静かな足踏み状態。一方、食料品小売業では、物価高に加え、慢性的な人手不足や人件費の上昇、さらに電子決済手数料の負担が重なり、採算・資金繰りともにやや悪化。厳しい経営環境が続いている。耐久消費財では売上がやや増加し、業況もやや好転しているが、依然として新車の仕入れ難や中古車価格の高騰が続いており、買い控えの傾向も見られる。全体として、コスト増への対応力や季節・市場動向への柔軟な対応が企業ごとに差を生んでおり、今後も個別業種ごとの注視が必要である。

(兵庫県丹波市商工会)

物価高による買い控えなどを感じる。気候が良い時期なのに寒い日が続いており、人の動きが良くないように感じる。

■自動車販売：車検受付期間が車検満了日前の2か月前からと1か月長くなったため、社員に少しゆとりが出来ている。ただ、故障箇所を見極めるためのコンピューター診断などの経費が増えている。

■ガソリンスタンド：燃料の販売だけでは売上が難しいため、車検やボディーコーティング、レンタカー、車両販売など幅広く行う必要がある。新車については車両の販売だけでは利益が薄い為、残価クレジットなどを契約してもらい、金利面での手数料収入が不可欠である。

(岡山県瀬戸内市商工会)

ある程度の価格転嫁はできているものの、生活費需品として100%の転嫁が難しい状況である。理由は、県内でも人口密度が高い地域であるため、大手スーパーが密集しており、店舗数についても大小含めて多数点在していること、食料品の高騰が目立つことから、価格競争に参入せざるを得ない。

(熊本県熊本市託麻商工会)

小規模事業者の小売業全般において物価高騰による販売価格上昇のため客離れに歯止めがかからず、売上が減少している。価格転嫁も最低限に抑えているものの売上・利益減少と自助努力で対応できない段階まで来ており、廃業を選択する事業所も見られる。

(鹿児島県志布志市商工会)

5. サービス業

<改善傾向を示すコメント>

理美容業界の価格転嫁はすすんでおり、利益を確保している事業者が多くみられる

(岩手県岩手町商工会)

春の観光シーズンにより、宿泊や飲食に関しても好況である。アジア地域を中心としたインバウンドのツアー客が多く訪れており、状況は引き続き良いと推測する。

(秋田県仙北市商工会 田沢湖支所)

月の前半は、学生の春休み期間ということもあり、観光関連業種を中心に入込客が増加傾向にあったようである。また、インバウンド客も継続的に訪れており、安定的な売上をあげているようである。今月末から来月始めにかけてGW期間に突入することから、観光関連業種としては活気付く期間が続くようである。

(福島県会津美里町商工会)

旅館業は、ゴールデンウィーク期間中(4月)の予約が早期に埋まるなど堅調な動きが見られた。飛び石連休の影響による旅行者の減少は見られず、例年並みの水準を維持している。洗濯業は、時節柄、需要は例年並み増加。温暖化の影響か春先の気温変動が不安定なため、従来の季節進行に合わせた一斉的な衣替えは減少。特定の時期に集中することなく、年間を通して緩やかに推移する傾向が強まっている。理美容業は、入学入社シーズン、連休前に美容関係の手入れをしたい顧客需要が多く、売上は増加。客数は例年並みであるが、物価高騰に応じた価格改定をしている店舗も増え、売上金額は上昇している。

(鳥取県琴浦町商工会)

しまなみ地区では、近年の観光需要の回復とともに、訪日外国人(インバウンド)の増加を背景に宿泊需要が急速に高まっています。特に欧米を中心とした外国人個人旅行者やサイクリストの来訪が増加しています。こうした需要の高まりを受けて、地域内では移住者による民泊や小規模宿の開業が相次いでおり、空き家や古民家を活用した宿泊施設が増加しています。

(愛媛県しまなみ商工会 大三島支所)

<悪化傾向を示すコメント>

基本的に利用頻度に影響を感じる。売上に実感がある程度に減少あり。原価も上がっており、先行き不透明なコメントが多かった。

(宮城県栗原南部商工会 瀬峰支所)

クリーニング関連業者について、冬物から春物に替わることで売上増加に期待できる時期だが、家庭用洗濯機で洗える製品の種類が増えていることなどもあり、布団などを除いた衣類関連の売上は減少傾向にある。

(福井県福井東商工会)

理美容業については、売上額については上昇傾向であるが、開業も多い業種なので競争が激化している。

(長野県臼田町商工会)

それぞれの事業所のそれぞれの新たな仕掛けによって、集客が異なるが、旅館業以外は、少子高齢化過疎地域のため、売上の増加については、相当の努力が必要である。

(愛知県稲武商工会)

サービス業では、観光関連を中心に厳しさが目立つ。旅館・宿泊業では、万博関連の集客が都市部に集中し、地方ではインバウンド需要も減少傾向にあり、売上減・採算悪化が進行している。洗濯業においては、近隣に低価格チェーン店が出店した影響で顧客離れが生じ、廃業を検討する事業者も見られるなど、価格競争の波が小規模事業者を直撃している。一方で、理美容業は各種指標が「不変」となっており、現状維持の傾向にあるものの、特段の改善材料も見られない状況である。全体として、業況は「やや悪化」に傾いており、地域性・業種性に応じた支援が求められる段階にある。

(兵庫県丹波市商工会)

美容業では、物価高騰の影響からか、顧客の来店サイクルが長期化する傾向が見られ、また施術メニューの選択数が減少することで客単価が下落しているとの声が聞かれる。

(島根県石見商工会)

インバウンド等の恩恵を受けている旅館・宿泊所については好調。しかし、その他の地元者向け事業については、人口減少に伴うサービスの利用低下及びインフレによるサービス業界に対する節約傾向が顕著に表れている。またコロナ禍以降のニーズ及び市場環境の変化について行けていない事業者が多い。ゼロゼロ融資の返済が重く資金繰りが悪化している事業者が多い。

(香川県三豊市商工会)

外国人観光客が増え、平日の客室稼働率が上昇し、売上は増加傾向にある。ただ食材の仕入れだけでなく燃料代も値上がりしているため、採算については悪化している。どの宿泊施設も個室重視の改修工事を行い高単価設定にしているため、そこから更に仕入れ値上昇分を転嫁する事は抵抗感がある

(佐賀県太良町商工会)

人口減少及び高齢化によって客数が減少、売上が年々減少してきている。それに加えて物価高の影響も受け、厳しい経営状況が続いている。

(長崎県諫早市商工会)